

豊田市議会自民クラブ議員団

「令和 6 年度当初予算への要望（部会要望）」

に対する回答

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.1

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 土地利用構想の実現に向けた拠点における戦略的土地利用の推進 【要望内容】 ① 超高齢社会と人口減少の到来に備え、また自動車産業への大改革の動向を見据え、活力ある都市として持続的な成長を実現するため、都市基盤を生かした居住や産業等戦略的な土地利用をするためのグランドデザインを策定し実行してゆく予算を確保すること。	・社会環境の変化に適応した持続可能な都市として発展していくため、第9次総合計画における将来都市構造の策定や次期都市計画マスタープラン等の策定に必要な調査・検討を進めていく。 ・土地利用構想の実現に向けた戦略的な土地利用を推進するため、住宅供給施策については、住宅マスタープランに基づき、居住誘導拠点におけるまちづくりに必要な調査等を進めていく。 ・産業用地施策については、産業用地整備の基本方針に基づき、産業誘導拠点における計画的な産業用地整備の事業展開において必要な設計、調査等を進めていく。 (企画政策部 都市計画課、産業部 産業労働課、都市整備部 定住促進課、市街地整備課、区画整理支援課)	・土地利用構想調査費 (12百万円) ・都市計画マスタープラン策定費 (12百万円) ・緑の基本計画策定費 (9百万円) ・八草駅周辺土地利用調査費 (118百万円) ・上豊田駅周辺土地利用調査費 (52百万円) ・若林駅周辺土地区画整理調査費 (29百万円) ・住宅マスタープラン推進費 (10百万円) ・豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業繰出金 (35百万円) ・産業誘致活動費 (29百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.2

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 山村地域の人口確保をするために地域資源を活用したまちづくりの推進。山村条例に沿った、おいでん・さんそんプランの積極推進 【要望内容】 ① 山村地域の振興に向けた「(略称)山村条例」の理念及びおいでん・さんそんプランを推進してゆくため、多様な主体との共働により、山村地域の魅力、資源を活用した移住・定住や教育・交流・関係人口の拡大のための予算の確保及び、それらを更に推進するため空き家空き地活用、小学校区定住促進ビジョンによる宅地供給、足助高校の魅力化、通信制教育の検討、都市との交流、多様な働き方実現など各種取組における研究、実証をする予算を確保すること。	・山村地域への移住・定住の促進に向けては、空き家や空き地のほか、山村地域活性化住宅等を活用した住まいの確保の取組を進めるなど、地域との連携や役割分担により更なる移住・定住につなげていく。 ・地域への愛着や誇りを持てるよう山村地域の特色を生かした教育を推進するほか、地域課題の解決を通じて地域社会を学ぶ足助高校の取組を支援するなど、特色ある教育を推進していく。 ・都市部の企業や団体等が地域と継続的に関わる交流機会や地域資源を生かした生業の創出など、関係人口の拡大や多様な働き方の実現に向けた取組を地域と連携して進めていく。 ・このほか、次期おいでん・さんそんプランの策定に向け、山村地域の実態把握を進めるための調査を実施する。 (企画政策部 企画課、教育部 教育政策課、産業部 農政企画課、都市整備部 定住促進課、地域振興部 地域支援課及び関係支所)	・住宅取得費補助金（73百万円） ・定住促進費（1百万円） ・雇用定住促進費（1百万円） ・山村地域等空き家再生事業補助金（38百万円） ・空き家情報バンク登録促進事業補助金（4百万円） ・山村地域等空き家活用起業支援事業補助金（1百万円） ・2戸2戸作戦推進費（47百万円） ・グリーンツーリズム推進費補助金（2百万円） ・都市と山村の共生推進費（47百万円） ・農商工連携促進費（1百万円） ・6次産業化促進費（2百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.3

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 SDG s 未来都市実現に向けた 取組推進と重点施策新エネルギー・次世代モビリティの普及 促進 【要望内容】 ① SDG s の情報発信を強化 し、更なる市民意識の向上、S DG s パートナーや豊田市つな がる社会実証推進協議会と連携 を図り、加速化するための予算 を確保すること。	・とよたSDG s パートナー制度及び豊田市SDG s 認証制度の運営 及び発信を通じ、企業や団体のSDG s 達成に向けた取組の加速化 を図っていく。 ・市民共働で制作したSDG s 研修カード「とよたSDG s マスタ ー」を活用した地域におけるSDG s 人材の育成事業を実施する。 (企画政策部 未来都市推進課)	・SDG s 推進費（27百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.4

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 SDG s 未来都市実現に向けた 取組推進と重点施策新エネルギー・次世代モビリティの普及 促進 【要望内容】 ② 新エネルギー・次世代モビ リティの普及促進に向けて事業 の取組が加速化するための予算 を確保すること。	・「豊田市つながる社会実証推進協議会」等のプラットフォームを活用し、関係企業との連携を推進することで、エネルギーの地産地消や先進移動技術実証の推進を図る。 (企画政策部 未来都市推進課) ・環境性能に優れた次世代自動車の普及拡大に向け、プラグインハイブリッド車、電気自動車及び燃料電池車（F C V）の車両購入費補助や充電設備の導入補助を継続する。 ・環境性能に加えて電動車の外部給電機能を、災害等の停電時に移動式電源として活用する「S A K U R Aプロジェクト」について、引き続き、自動車販売店等と連携しながら取り組み、市民に次世代自動車の有用性を啓発していく。 (環境部 環境政策課)	・次世代エネルギーシステム推進費 (33百万円) ・先進技術等移動支援事業費 (210百万円) ・次世代自動車普及促進費補助金 (96百万円) ・事業者向次世代自動車普及促進費補助金(11百万円) ・次世代自動車普及促進費 (1百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.5

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 脱炭素社会の実現に向けた取組の推進 【要望内容】 ① バッテリー式電気自動車（ＢＥＶ）の普及を目指した市内充電器の更なる充実を図るための予算を確保すること。	・ＢＥＶ普及に向けて策定した第二期充電インフラ整備方針に基づき、急速充電設備を整備するなど、充電設備の整備を進める。 （企画政策部 未来都市推進課）	・次世代自動車普及促進事業費（２８百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.6

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 脱炭素社会の実現に向けた取組の推進 【要望内容】 ② 電動車の車載蓄電池の更なる活用に向けた実証を行うための予算を確保すること。	・車載電池の活用については、「豊田市つながる社会実証推進協議会」の企業等と共に実証に取り組み、車載電池が有効活用される仕組みづくりに向けて官民の連携を強めていく。 (企画政策部 未来都市推進課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.7

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 より効率的・効果的な行政運営に資する新たな公会計制度の導入 【要望内容】 ① 現在の会計制度である単式簿記・現金主義会計に複式簿記・発生主義会計を加えることで、市が所有する財産である「ストック情報」及び減価償却費なども含む正確な「コスト情報」を明らかにし、より効率的・効果的な行政運営を行うことができる新たな公会計制度の導入に向けた調査・研究及びシステム導入する予算を確保すること。	・発生主義によるストック情報・フロー情報を総体的・一覽的に把握するため、財務諸表の作成及び固定資産台帳の更新作業を引き続き行う。また、効率的・効果的な行政運営に寄与する財務諸表等の活用方法について調査研究を進める。 (企画政策部 財政課)	公会計改革推進費（2百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.8

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 デジタル技術を活用した効率的、効果的な質の高い行政運営の推進 【要望内容】 ① デジタル強靱化戦略に基づき、質の高い行政運営を推進するために、デジタルを生かした手続きと、ユーザー目線の視点を踏まえて、研究、実証に取り組み、早期実現に向けて予算を確保すること。更にこれら取組を支える「各種ツールの導入・利活用及び業務の見直し」については、全庁一体的に推進する予算を引き続き確保すること。	・ 質の高い行政運営に向け、ユーザー目線の視点を踏まえ、データ連携を基軸とした業務環境にしていく必要があることから、今後のあり方を取りまとめていく。 ・ また、既に導入しているＡＩチャットボット、ＡＩ－ＯＣＲ、ＡＩ議事録、あいち電子申請・届出システム、ＲＰＡ等の活用促進を図るとともに、それらに必要なＢＰＲ（業務の見直し）に関する取組も進めていく。 （総務部 情報戦略課）	・ デジタル化・スマート化推進費（２０６百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.9

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 デジタル技術を活用した効率的、効果的な質の高い行政運営の推進 【要望内容】 ② デジタル強靱化戦略の各種取組は、今後の本市のデジタル化を加速させるものであるため、特にデータの利活用は、デジタル化を支えるだけでなく本市の政策立案を進めるために必要なものである。積極的かつ戦略的な取組を進め、将来を見据えた取組が実施できるよう予算を確保すること。	・ 豊田市デジタル強靱化戦略に位置付けているオープンデータ等の活用については、令和5年度から全庁取組方針として、オープンデータ拡充の取組を進めており、目標数を達成できる見込みである。 ・ 令和6年度においても、デジタル田園都市国家構想の考え方などを踏まえ、本市のデータ利活用を積極的かつ戦略的に進める調査・研究を行うとともに、データ分析ツールの更なる活用、官民連携などの取組を加速させ地域課題の解決などに取り組んでいく。 （総務部 情報戦略課）	・ デジタル化・スマート化推進費（206百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.10

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 デジタル技術を活用した効率的、効果的な質の高い行政運営の推進 【要望内容】 ③ デジタル推進本部を組織する職員のデジタル化に関する知識向上及び取組意欲向上に向けた人材育成、人材確保に必要な予算を確保すること。	・DX人材の育成に向け、令和5年度から新たに採用したCDO補佐官と連携しながら、各階層等で必要な知識などを検討の上、研修を実施していく。 ・また、デジタル化推進本部員（副部室局長）を対象とした外部有識者との意見交換など、デジタル知識の習得に向けた取組についても継続して実施していく。 （総務部 人事課、情報戦略課）	・デジタル化・スマート化推進費（206百万円） ・一般研修費（5百万円） ・自己啓発研修費（1百万円） ・部局研修費（1百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.11

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 時代に即したコンピュータシステムの効果的利用の推進と情報セキュリティの維持向上 【要望内容】 ① 今後自治体においても利活用が進む予定であるクラウドサービス等の新たな技術の導入を見据え、効率性、利便性、安全性の高いシステム基盤の整備（システム導入やメンテナンス）が必要であり、そのための予算を確保すること。	・令和4年度から令和5年度にかけて実施したコンピュータネットワークの再構築により、業務用パソコンでのインターネット利用が可能となったが、インターネット利用モードへの切り替えに10数秒の待機時間を要するため、セキュリティを確保しつつ、より簡便にインターネット及びインターネット上の各種クラウドサービスを利用可能な仕組みを整備する。 （総務部 情報システム課）	・情報セキュリティ推進費 （2百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.12

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 時代に即したコンピュータシステムの効果的利用の推進と情報セキュリティの維持向上 【要望内容】 ② テレワークやオンライン会議など多様化する業務形態や巧妙化するサイバー攻撃等に対応するため、時代に即した情報セキュリティ対策に必要な予算を確保すること。	・セキュリティを確保しつつ、各職員が個人所有する自宅のパソコンから職場の自席パソコンを遠隔操作する形式でのテレワークを可能とし、テレワーク実施の障壁となっている遠隔操作用パソコン受け渡しの手間を無くすことで、テレワークを促進する。 (総務部 情報システム課)	・情報セキュリティ推進費 (1百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.13

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 根拠に基づく政策立案の推進 【要望内容】 ① EBPM（根拠に基づく政策立案）の考えに基づく、統計データの利活用を進めるために必要な調査、研究、及びシステムを構築するために必要な予算を確保すること。	・ E B P Mについては、様々な施策を検討・評価していくに当たり、重要な取組と認識している。令和5年度においては、データの利活用を推進するため、B I ツールを活用した地域カルテの見直しを地域振興部と連携して進めた。これらの取組も踏まえて、令和6年度においてもB I ツールを軸とした取組を実施していく。 ・ これらの取組を進めていくに当たっては、D X人材育成の観点も必要であることから、この点も踏まえて取り組んでいく。 （総務部 情報戦略課）	・ デジタル化・スマート化推進費（206百万円） ・ 次世代通信網・データ活用推進費（23百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.14

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 公有財産の有効活用の促進 【要望内容】 ① 市が保有する公有財産の適正管理及び効率的な運用を更に推進するため、所有する全公有財産を把握し公有財産の利活用の推進に向け、低未利用財産や利活用困難物件に対する課題解決及び利活用に向けた予算を確保すること。	・「未利用財産戦略的利活用指針」（令和5年度改定）に基づき、保有する低未利用財産について、市場性等を踏まえた優先順位を設定し、利活用に向けた物件の課題整理等に必要な予算を確保する。 （総務部 財産管理課）	・財産管理費（20百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.15

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 スマート窓口「行かない・書かない・待たない」とマイナンバーカード交付の更なる取組 【要望内容】 ① 市民の利便性向上につながる市民課・支所出張所における「書かない・待たない」スマート窓口を更に進め、戸籍のマイナンバー連携などの国の施策について遅滞なく進めるとともに、全庁的に展開するために引き続きＩＣＴ機器の導入・保守などの予算を確保すること。	・市民部、福祉部、こども・若者部による「窓口改革ワーキンググループ」を設置し、スマート窓口化に向けてマイナンバーカードの活用を含めて具体策の検討を進めている。これらの検討を踏まえて必要となる取組を進めていく。 (総務部 情報戦略課) ・令和5年度から導入した「スマート窓口支援システム」により、「書かない・待たない窓口」の更なる推進のため、適切な対応を実施していく。 ・令和6年度以降に予定されているマイナンバー連携についても、マイナンバーカードの海外利用等に対し、適切な対応を実施していく。 (市民部 市民課)	・デジタル化・スマート化推進費（206百万円） ・戸籍住民基本台帳事務費（330百万）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.16

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 スマート窓口「行かない・書かない・待たない」とマイナンバーカード交付の更なる取組 【要望内容】 ② マイナンバーカードは市民のデジタル化の基盤であり、マイナンバーカードの交付を更に推進するとともに、行政の電子申請を始めとする利活用の促進のための予算を確保すること。	・ マイナンバーカード交付の更なる推進のため、カードをまだ取得していない市民に対し、市役所本庁舎のカード交付窓口以外での申請手続等が行えるよう、支所・出張所、福祉施設等の施設での出張申請窓口の開設を行っていく。また、引き続き、カード交付の休日窓口を開設し、交付機会を確保していく。 (市民部 市民課) ・ マイナンバーカードの利活用については、国においてスマートフォンへの機能搭載、健康保険証や運転免許証との一体化などの活用が進められているため、これらの動向を踏まえつつ、市民サービスの向上、業務効率化の観点から実証などに取り組んでいく。 (総務部 情報戦略課)	・ 個人番号カード交付事務費 (86百万円) ・ デジタル化・スマート化推進 (206百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.17

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 国民健康保険制度の安定的運用に必要な財政対応 【要望内容】 ① 国民健康保険は、医療の高度化や制度改正などにより税率引上げを検討せざるを得ない状況が続いているが、セーフティネットとしての役割やコロナ禍の影響を考慮し、短期間での大幅な引上げを避ける市独自の激変緩和措置を継続すること。	・国民健康保険税は、制度改正などによる影響や県内他市と比較しても低い水準であることから、税率を引き上げざるを得ない状況である。 ・ただし、国民健康保険のセーフティネットなどの役割を考慮し、一般会計から国民健康保険事業財政調整基金へ適切な時期に必要な額を積み立て、活用することで、短期間での大幅な税率の引上げを避けるための市独自の激変緩和措置を継続する。 ・なお、納付金ベースの保険税水準の県内統一が令和11年度に予定されることとなり、新たな負担増が生じるため、激変緩和措置期間を2年延長し、令和11年度までかけて本来集めるべき保険税水準に到達させる考えである。 （市民部 国保年金課）	・国民健康保険事業財政調整基金繰入金（1,748百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.18

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ① 地域自治システムの拡充による支所権限の強化と隣接支所との連携強化を発揮できる予算を確保すること。	・支所の権限強化については、地域の意見にきめ細かく、迅速かつ的確に対応するため、地域課題解決事業及びわくわく事業の予算を引き続き地域ごとの上限を設定せず積極的に活用していく。また、広域課題解決事業を活用することで、隣接支所との連携を強化していく。 (地域振興部 地域支援課及び支所)	・地域課題解決事業費（地域支援課及び全支所） (332百万円) (うち広域課題解決事業) (4百万円) ・わくわく事業（地域支援課及び全支所）(160百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.19

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ② 山村地域の過疎化対策として、民間業界と連携し、空き家や空き地の発掘や積極的な活用を図る等、移住・定住施策予算を確保すること。	・「豊田市空き家等対策計画」に基づき、協定締結をした民間の関係団体と連携し、空き家の利活用を進めていく。 ・空き家・空き地情報バンク、2戸2戸作戦宅地分譲事業等を活用し、愛知県宅地建物取引業協会豊田支部と連携して、移住・定住施策に取り組んでいく。 ・このほか、更なる空き家の発掘に向け、空き家所有者向けの啓発事業を実施し、空き家情報バンクへの登録促進を図る。 ・また、空き家を使って起業する者に対し、金融機関や商工会等と連携して、事業実施に係る包括的支援を実施していく。 ・山村地域の支所に設けた、住宅地確保を目的とした農地活用に関する相談窓口の運営に、愛知県行政書士会豊田支部と連携して取り組んでいく。 （都市整備部 定住促進課、地域振興部 地域支援課及び関係支所）	・住宅取得費補助金（73百万円） ・住まい相談総合支援事業費（1百万円） ・老朽空き家等解体費補助金（2百万円） ・定住促進費（1百万円） ・山村地域等空き家再生事業補助金（38百万円） ・空き家情報バンク登録促進事業補助金（4百万円） ・山村地域等空き家活用起業支援事業補助金（1百万円） ・2戸2戸作戦推進費（47百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.20

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ③ 国内外への情報発信や集客・受入を推進するための予算及び観光資源や地域特性を活用した取組を推進するための予算を確保すること。	・（一社）ツーリズムとよたの公式ホームページ・SNSや、メールマガジン等を活用したデジタルプロモーションを外国人旅行者、現地メディア、旅行会社等へ展開するとともに、営業代行により各国における本市の観光の認知及び興味関心を高めていく。 ・また、（一社）ツーリズムとよた、各地区観光協会、観光関係者と連携し、地域の観光資源を生かし、「歴史」「自然」「体験」等、消費者の趣味・嗜好に合わせた商品の開発やプロモーションを進めていく。 (産業部 商業観光課) ・世界ラリー選手権の開催により、国内外からの幅広い利用が想定されるため、旭高原自然活用村の利用者ニーズを捉えて施設の再整備を推進する。また、「花の里づくり計画」に基づき、花の里の拠点化に向けた取組を実施することで、旭高原自然活用村の魅力を高め、地域経済の活性化につなげていく。 (地域振興部 旭支所) (次ページへ続く)	・ツーリズムとよた補助金（110百万円） ・観光プロモーション費（13百万円） ・旭高原自然活用村費／施設整備費（395百万円） ・地域課題解決事業費／地域観光交流費（10百万円）

	・ 豊田小原和紙工芸や小原歌舞伎の後継者育成、四季桜の景観維持活動などを推進すると共に、小原観光協会が行う地域資源を活用した商品開発・体験事業などを支援し、観光資源の更なる魅力向上に取り組む。 (地域振興部 小原支所) ・ 稲武地区の伝統である養蚕・製糸文化を衰退させないために稲武地区養蚕・製糸文化伝承事業実行委員会を中心に養蚕文化の普及啓発を行いながら、後継者の育成や新たな事業展開など地域特性を生かした取組を推進していく。 (地域振興部 稲武支所) ・ 香嵐渓 100 年プロジェクト等の事業を推進し、観光資源の新たな魅力創出や景観向上に向けた取組を行う。 (地域振興部 足助支所) ・ 世界ラリー選手権の開催を契機として三河湖の魅力を高めるため、令和 4 年度に策定した「三河湖観光周辺整備活用計画」に基づき、観光情報の充実や駐車場の拡大など、設計施工一括発注買取方式による三河湖観光センター再整備を実施する。 (地域振興部 下山支所)	・ 小原和紙のふるさと費／小原和紙育成事業費（7 百万円） ・ 小原歌舞伎伝承活動負担金（1 百万円） ・ 地域課題解決事業費／地域観光交流費（6 百万円） ・ 養蚕・製糸文化伝承活動負担金（10 百万円） ・ 香嵐渓費／再整備費（26 百万円） ・ 三河湖観光費／施設整備費（299 百万円）
--	---	--

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.21

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ④ 地域住民、特に高齢者の移動手段については、利便性と持続性の両立を図り、地域バスやその他の交通手段の改善などに向けた必要な予算と生活道路等の整備予算を確保すること。	・地域バスなどの生活交通は、「自助・共助・公助」による多様な移動手段を組み合わせ、持続可能な移動サービスを実現していくことが重要である。 ・利便性と持続性の両立を目指して、地域バスなどの見直しや利用促進に取り組むほか、住民共助による取組への支援を拡充するなど、高齢者等の生活交通のニーズに合わせた取組を行っていく。 (都市整備部 交通政策課、地域振興部 地域支援課及び関係支所) (次ページへ続く)	・地域バス運行費 (365百万円) ・地域タクシー運行費 (15百万円) ・地域内交通確保調査費 (5百万円) ・住民共助交通推進費 (3百万円) ・地域交通調査等支援事業費補助金 (1百万円) ・共助タクシー運行支援事業費補助金 (1百万円) ・住民共助輸送支援事業費補助金 (1百万円)

	・生活道路等の整備については、生活環境の向上に向けた道路拡幅や視距改良など、必要性や緊急性を考慮し、取り組んでいく。 (建設部 土木課、地域建設課)	・後退用地整備費 (1 3 6 百万円) ・位置指定道路整備費 (8 百万円) ・市道新設費 (3 1 9 百万円) ・歩道設置費 (3 1 6 百万円) ・市道改良費 1 (7 7 3 百万円) ・市道改良費 2 (6 4 9 百万円) ・法定外道路改良費 (2 4 百万円) ・市道舗装費 (1 7 百万円)
--	--	---

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.22

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ① 南海トラフ地震の被害予測結果や異常気象による風水害予測などを踏まえ、豊田市に特化した防災・減災対策に係る予算や情報伝達機能の強化を図るために必要な予算を確保すること。	【計画の策定に関すること】 ・令和2年度に災害状況や社会状況の変化等を踏まえて中間見直しを行った「豊田市災害対策推進計画」について、進捗管理を毎年継続して実施していく。 ・南海トラフ地震被害予測結果や近年発生した大規模災害時の教訓の反映等を踏まえた「(仮称)第2次豊田市災害対策推進計画」を策定していく。 (地域振興部 防災対策課) 【耐震化に関すること】 ・橋りょうについては、平成8年道路橋示方書より古い基準で設計された橋長15m以上の橋りょうのうち、緊急輸送道路等を跨ぐ重要橋りょうに対し、優先順位を付け引き続き計画的に耐震対策を進めていく。 (建設部 道路予防保全課) (次ページへ続く)	・危機管理体制調査費（12百万円） ・耐震対策費（164百万円）

	・倒壊の危険性の高い、昭和５６年以前に建てられた建築物については、今後も耐震診断や耐震改修等補助事業を積極的に進めていく。 (都市整備部 建築相談課) ・水道については、「新水道耐震化プラン」に基づき、管路と施設の耐震対策を進めていく。 ・管路は、主要配水場などを結ぶ基幹管路や医療機関等の重要給水施設へ向かう管路を優先的に耐震管へ布設替えしていく。 ・施設は、配水場など主要施設の耐震化を進め、大規模断水に備えた応急給水施設として飲料用循環式耐震性貯水槽の設置などを行っていく。 ・下水道については、「豊田市下水道総合地震対策計画」に基づき重要な幹線等に位置付けられた雨水管路及び中部第２ポンプ場の耐震化を行っていく。 (上下水道局 企画課、水道整備課、上水運用センター、下水道建設課、下水道施設課) 【風水害に関すること】 ・想定最大規模に対応した避難場所対策として、水害被害予測調査結果に基づき、風水害時における避難場所等の拡充を図っていく。 ・近年の浸水被害状況から、水位監視カメラや水位計等を活用し、迅速、的確な避難行動に繋げる。 (地域振興部 防災対策課) ・東海豪雨による浸水実績や豊田市総合雨水対策マスタープラン等に基づき、順次、河川改修や雨水貯留施設の整備を進めていく。また、矢作川を始め流域ごとに策定された流域治水プロジェクトに基づき、国、県、市で連携し、流域全体で防災減災対策に取り組んでいく。 (建設部 河川課)	・耐震診断費（１３百万円） ・耐震補強工事費等補助金（５８百万円） ・民間非木造建築物耐震化補助（２７百万円） ・管路耐震化事業費（１５１百万円） ・施設耐震化事業費（１６３百万円） ・飲料用循環式耐震性貯水槽設置費（４９百万円） ・災害拠点給水施設改修費（４０百万円） ・雨水幹線等耐震補強費（４１５百万円） ・中部第２ポンプ場設計委託費（１９百万円） ・防災設備維持管理費（２２百万円） ・矢作川改修促進費（４２百万円） ・河川改良費（６４９百万円） ・流域貯留施設整備費（７５百万円）
--	--	---

(次ページへ続く)

	・山間地における取水施設では、近年頻発する異常気象による風水害に対する自己水の安定供給を目的に、濁水対策や取水不良対策に取り組んでいく。 ・また、一部山間地では、水質異常時における情報伝達手段の強化を図るため、広報活動や電話連絡網など従来の方法に加えて、SNSや防災ラジオ等を利用した新たな方法を構築していく。 ・都市部においては、気候変動に伴う降雨量増加を踏まえて改定した「豊田市雨水管理総合計画」に基づき、浸水対策に取り組んでいく。 ・浸水のおそれがある3か所の雨水ポンプ施設及び2か所の污水ポンプ施設では、河川氾濫等が発生しても一定の上下水道機能の確保を目的とする「豊田市上下水道施設耐水化計画」に基づき、耐水化を図っていく。 (上下水道局 企画課、上水運用センター、下水道施設課) 【避難所・避難行動・啓発に関すること】 ・新たに緊急メールとよたで配信している防災情報を、災害協定を結んでいるLINEやフー（株）の2種類のアプリでも、情報発信できるようにシステム連携する。また、防災ラジオについて、令和6年度からは補助期間を廃止し、1世帯に1台は常時3,000円で販売するとともに、新たに市内の事業所に対して定価での販売を開始するなど、災害時の情報伝達機能の強化を図っていく。 ・防災啓発・防災教育のほか、多様な情報伝達手段を展開し、市民の自助の取組を促進するとともに、避難所運営に向けた地域での体制の協議や実動訓練を始めとする自主防災活動の支援を通じて、共助の取組促進に一層力を入れていく。 ・近年の災害の教訓や社会情勢などを踏まえて、必要な災害用備蓄物資の充実・見直しを図っていく。 (地域振興部 防災対策課) (次ページへ続く)	・取水施設改良費 (111百万円) ・情報伝達用電信電話料金 (1百万円) ・耐水化事業費(59百万円) ・防災設備維持管理費 (22百万円) ・災害時情報通信設備整備費 (1,411百万円) ・防災啓発費(10百万円) ・自主防災育成費(4百万円) ・自主防災事業補助金 (各支所合計)(16百万円) ・避難者対策費(26百万円)
--	--	--

	・要配慮者対策として、地域支援者を始めとした住民に対する「避難行動要支援者名簿制度」の周知等により、引き続き要配慮者の支援体制強化を図っていく。 (福祉部 よりそい支援課)	・避難行動要支援者対策費 (1百万円)
--	--	---

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.23

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ② マイ・タイムラインの作成及び活用した避難行動につなげるための支援に係る予算を確保すること。	・マイ・タイムラインの作成については、愛知工業大学やNPO法人愛知ネットとの連携を強化し、地域の状況や要望等に合わせて内容や時間など柔軟に対応し、住民のニーズを踏まえた効果的な作成支援の促進に一層力を入れていく。 ・また、マイ・タイムラインシートのデジタル化についても、「緊急メールとよた」と「ヤフー防災速報アプリ」のシステム連携の機会を捉えて、アプリでのタイムライン作成等の検討を進めていく。今後は、出前講座等において、受講者のニーズに合わせて啓発をしていく。 ・多様な防災啓発・防災教育を展開し、死者数ゼロという目標を達成するために、地域住民による共助の取組を促進する。 (地域振興部 防災対策課)	・防災設備維持管理費（22百万円） ・防災啓発費（10百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.24

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ③ 豊田市防災行政無線の老朽化に伴う更新及び修繕や、災害用便槽の整備などの防災設備の整備に必要な予算を確保すること。	・ 豊田市防災行政無線の老朽化に伴う更新については、令和6年度から令和7年度にかけて、280MHzデジタル同報無線システムとの統合、IP無線の購入などの整備及び既存設備の撤去を行い、現行の機能を維持しつつ、コストの削減を図りながら機能強化を図っていく。 ・ 災害用便槽の整備については、社会資本総合整備計画に基づき、計画的な整備を進め、避難所における避難者の健康と衛生環境の確保を図っていく。 (地域振興部 防災対策課)	・ 災害時情報通信設備整備費 (1,411百万円) ・ 災害用便槽整備費 (35百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.25

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ④ 災害時に被害者及び帰宅困難者の緊急避難場所を確保するための予算を確保すること。	・災害時における緊急避難場所については、地震時117か所、風水害時106か所を指定している。風水害時に使用できない緊急避難場所については、地域の要望や適地の状況等に合わせて、更なる指定に向けた検討を進めていく。 ・帰宅困難者の受入れについて、中心市街地においては、豊田市駅・新豊田駅周辺の6施設と、帰宅困難者の受入に係る協定を締結し、一時滞在施設の確保を図っている。 ・備蓄については、「被害者」と「帰宅困難者」それぞれ分けて確保しており、食料や生活必需品のほか、災害時における応急活動等を円滑に行うために必要な資機材等を、「豊田市災害用備蓄物資等配備計画」に基づき備蓄している。今後も国県の動向や時代のニーズを注視して、適宜、計画の見直しを行いながら、継続して備蓄を行う。 (地域振興部 防災対策課)	・避難者対策費（26百万円） ・帰宅困難者対策費（4百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.26

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ⑤ 交通事故抑止対策を推進するため、事故実態を踏まえた交通安全施設の整備を迅速かつ着実に実施する予算を確保すること。	・ 自治区等からの申請に基づき、緊急性や重要性を考慮しつつ、早期に交通安全施設整備を行うとともに、交通事故多発危険交差点や重大事故発生箇所等については、再発防止に向けた迅速な対応に努めていく。 ・ また、ヒヤリハットデータやプローブデータ（走行中の車からネットワーク等を通じて得られる各種情報）などのビックデータを分析し、市民の身近に潜む交通危険箇所を抽出し、スマートポールなどの先端技術による対策も積極的に進めていく。 （地域振興部 交通安全防犯課）	・ 事故防止対策費（289百万円） ・ ゾーン30施設整備費（4百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.27

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ⑥ 高齢者等の交通事故抑止対策、交通安全教育に係る予算を確保すること。	・ 高齢者の交通事故防止対策については、高齢者交通安全防犯世帯訪問、高齢者運転技術講習会を継続して実施する。 ・ また、高齢ドライバーに多い、アクセルとブレーキの踏み間違いなどの事故を抑止するため、後付け安全運転支援装置設置費補助金も引き続き実施していく。 ・ 交通安全学習センターにおいて、幼児から高齢者まで心身の発達段階やライフステージに応じた、段階的かつ体系的な交通安全教育を継続的に実施していくほか、自転車安全利用意識向上につなげるため、自転車安全利用講習会を引き続き開催する。 (地域振興部 交通安全防犯課)	・ 交通安全教育費（高齢者交通安全防犯世帯訪問委託）（12百万円） ・ 後付け安全運転支援装置設置費補助金（2百万円） ・ 安全教育費（高齢者運転技能講習会）（2百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.28

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ⑦ 犯罪抑止につながる防犯カメラ設置の拡大と、自主防犯活動団体と連携した防犯パトロールを維持継続する予算を確保すること。	・ 自治区等を対象とした防犯カメラの新設、更新、移設に要する経費への補助制度を引き続き実施し、設置維持及び拡大を促進する。 ・ 主要交差点への防犯カメラ設置について、令和5年度内に契約締結し、令和6年度中に運用を開始しその効果を検証していく。 ・ 自主防犯活動団体に対しては、活動に必要な物品（ベスト、帽子、信号灯など）を支給するとともに、青色回転灯の貸出を引き続き実施し、自主防犯活動団体の活動を支援していく。 (地域振興部 交通安全防犯課)	・ 自主防犯活動支援費（3百万円） ・ 犯罪抑止活動費（地域安全巡回業務委託）（84百万円） ・ 防犯設備整備費補助金（15百万円） ・ 主要交差点防犯設備整備費（14百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.29

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ⑧ 複雑多様化する特殊詐欺などの動向を捉えた防犯対策のための予算を確保すること。	・特殊詐欺被害等防止機器購入費補助制度を引き続き実施し、固定電話への入電で始まる特殊詐欺の未然防止を図る。 ・無人のＡＴＭ設置施設や住宅街などへの広報車両による地域安全巡回、高齢者交通安全防犯世帯訪問事業による啓発を引き続き実施していく。 (地域振興部 交通安全防犯課)	・犯罪抑止活動費（地域安全巡回業務委託）（８４百万円） ・特殊詐欺被害等防止機器購入費補助金（７百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.30

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ⑨ 愛知県に対して、浄水地区、豊南東地区への交番新規設置及び各地域の駐在所の存続を働き掛けること。	・愛知県警察では、犯罪や交通事故などの治安情勢、人口、地理的条件などの地域情勢を考慮して、交番等の整備を進めているため、愛知県警察本部長宛てに「警察力強化等に関する要望書」を提出し、社会基盤整備などによる地域事情の変化が著しい地域などへの交番設置など、警察力強化を要望していく。 (地域振興部 交通安全防犯課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.31

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防、救急体制の強化と充実 【要望内容】 ① 救急救命士・救急隊員の着実な育成等と、医療機関とのDX連携により、救急活動能力の向上や高度な救急救命処置が可能な搬送体制を構築するための予算を確保すること。	・救急活動能力の向上や高度な救急救命処置が可能な搬送体制を目指し、気管挿管や薬剤投与等の資格取得のほか、医療機関と連携したドクターカー研修及び病院実習の受講や症例検討会への参画により、救急救命士と救急隊員を育成していく。 ・高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材の更新に加え、モニター画面一体型の喉頭鏡を購入するほか、バイタルデータ等の傷病者情報を医療機関と即時共有できる機器の実証を行うなど、DX機器実装に向けた取組を進めていく。 （消防本部 総務課、警防救急課、北・中・南・足助消防署管理課）	・救急高度化推進費（30百万円） ・消防活動企画運営費（うち、研修等参加費用）（1百万円） ・職員研修費（うち、救急隊員育成費用）（1百万円） ・救急活動費（うち、AED更新費用）（2百万円） ・消防車両整備費（うち、高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材）（30百万円） ・消防機械整備費（うち、救命処置訓練人形）（3百万円） ・管理運営費（うち、在庫管理システム費用）（1百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.32

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防、 救急体制の強化と充実 【要望内容】 ② 消防施設・資機材・消防車 両の整備充実に加え、消防指令 システムの更新や先進技術の活 用など消防対応力の充実強化を 図るための予算を確保するこ と。	・消防対応力の充実強化を図るため、消防施設については女性職員の就業環境の整備として、逢妻及び西分署の設計と藤岡小原分署の改修工事を行っていく。また、耐震性貯水槽及び消火栓整備のほか、高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線の更新整備を行っていく。 ・資機材については、建物火災時の煙や炎の動きを観察することで、消火戦術や安全管理などを学ぶ、燃焼実験用のステンレス製ミニチュアハウスを導入していく。 ・消防車両については、足助消防署の救助工作車を更新するほか、消防用車両等配備計画を改定し、稲武出張所の消防ポンプ自動車の更新において、新たな仕様の消防車両を導入していく。 (消防本部 総務課、警防救急課、指令課、北・中・南・足助消防署管理課)	・消防庁舎営繕費（92百万円） ・耐震性貯水槽整備費（106百万円） ・消火栓整備費（33百万円） ・通信機器整備費（1百万円） （令和7年度債務負担行為4,226百万円） ・救助・警防活動費（33百万円） ・震災対策消防設備整備費（7百万円） ・消防車両整備費（うち、高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を除く消防車両）（180百万円） ・消防機械整備費（うち、救命処置訓練人形を除く）（1百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.33

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防、 救急体制の強化と充実 【要望内容】 ③ A E Dがより活用されるための環境整備や自ら応急手当のできる市民の増加を推進し、救命率の向上を図るための予算を確保すること。	・ A E Dがより活用されるための環境整備として、まちかど救急ステーションの登録促進に向けた取組を継続するとともに、機能性の高いマップに掲載して、設置場所等の検索性を向上させる取組を行う。また、A E Dを設置する事業者等の負担軽減として、応急手当で使用されたA E Dパッドを補充していく。 ・ 応急手当ができる市民の増加に向け、音声メッセージだけではなく、画像表示により行動を指示するトレーニング用A E D等の資機材を充実させるとともに、インストラクターを活用し、多様な受講者に対応した応急手当講習を開催する。 (消防本部 警防救急課、北・中・南・足助消防署管理課、保健部健康政策課)	・ 消防活動企画運営費（うち、A E Dパッド）（1 百万円） ・ 救急高度化推進費（うち、警防救急課分を除く）（7 百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.34

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防、 救急体制の強化と充実 【要望内容】 ④ 地域防災力の向上のため、 消防団員確保に向けた取組と消 防団施設・装備等の充実を図る ための予算を確保すること。	・消防団員確保に向けた取組について、地域での機能別団員発足を支援していく。また、Instagramを用いたイベント告知やW E L O V E とよたスペシャルサポーターの活用により、消防団活動を見える化し、若い世代の加入促進につなげていく。 ・消防団施設については、市道若林東西線道路改良事業に伴う若林詰所格納庫の建替えや浄水地区に新たに詰所格納庫を新築する。 ・消防団装備等については、新たに電動チェーンソー及び保護具を配備するほか、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付き積載車、デジタル簡易無線機などを更新し、活動の充実や安全性の向上を図る。 (消防本部 総務課)	・消防団運営費（うち広告委託等）（1 百万円） ・詰所・格納庫費／整備費（9 1 百万円） ・消防団充実強化推進費（うち装備品）（6 5 百万円） ・消防団消防機械整備費（1 5 0 百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.35

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の基盤強化 【要望内容】 ① 上下水道施設の耐震化及びストックマネジメント計画の見直しを行い、確実に進めるための予算を確保すること。	【耐震化に関すること】 ・水道については、「新水道耐震化プラン」に基づき、管路と施設の耐震対策を進めていく。 ・管路は、主要配水場などを結ぶ基幹管路や医療機関等の重要給水施設へ向かう管路を優先的に耐震管へ布設替えしていく。 ・施設は、配水場など主要施設の耐震化を進め、大規模断水に備えた応急給水施設として飲料用循環式耐震性貯水槽の設置などを行っていく。 ・なお、「新水道耐震化プラン」は、資材費高騰や人口減少など社会情勢の変化を見据えながら、事業進捗に応じた見直しを適宜行っていく。 ・下水道については、「豊田市下水道総合地震対策計画」の事業進捗による見直しを行い、重要な幹線等に位置付けられた雨水管路の耐震化及び今後計画に位置付ける中部第2ポンプ場の耐震化を行っていく。 （上下水道局 企画課、水道整備課、上水運用センター、下水道建設課、下水道施設課） （次ページへ続く）	・管路耐震化事業費（151百万円） ・施設耐震化事業費（163百万円） ・災害拠点給水施設改修費（40百万円） ・飲料用循環式耐震性貯水槽設置費（49百万円） ・雨水幹線等耐震補強費（415百万円） ・中部第2ポンプ場設計委託費（19百万円）

	【老朽化対策に関すること】 ・水道については、「水道ストックマネジメント計画」に基づき、効率的な更新や修繕を行っていく。 ・なお、「水道ストックマネジメント計画」は、資材費高騰や人口減少など社会情勢の変化を見据えながら、事業進捗に応じた見直しを適宜行っていく。 ・下水道については、「豊田市下水道ストックマネジメント計画」に基づき効率的な改築や修繕を行う。 ・なお、「豊田市下水道ストックマネジメント計画」は、点検や調査結果に基づき、実施計画を適宜見直していく。 (上下水道局 企画課、水道維持課、上水運用センター、下水道建設課、下水道施設課)	・水道ストックマネジメント関連事業費（管路） (941百万円) ・水道ストックマネジメント関連事業費（施設） (1,087百万円) ・水道ストックマネジメント計画改訂等業務委託費 (41百万円) ・雨水管路更新費 (111百万円) ・汚水管路更新費（33百万円） ・下水道管路施設包括的維持管理費（246百万円） ・下水道施設更新費 (118百万円) ・下水道施設健全度調査費 (15百万円)
--	---	---

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.36

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の基盤強化 【要望内容】 ② 安全安心な水道水を安定供給する施設体制並びに施設維持管理をする人材育成とスキル向上を図るための予算を確保すること。	・水道水の管理体制については、検査の実施体制や技術的能力の適格性を示す水道水質検査優良試験所規範（水道G L P）の認定を継続していく。 ・安全で美味しい水道水を提供する取組として、国・県が実施する外部精度管理調査に積極的に参加し水質検査精度を高めるとともに、計画的に水質検査機器を更新し、万全な水質検査体制を整備する。 ・また、職員については、人材育成とスキル向上を目的に、業務に必要な資格取得や外部研修への参加及び全国会議等での論文発表、大学等との連携による水質研究などを積極的に進めていく。 （上下水道局 上水運用センター、水道整備課、水道維持課）	・水道 GLP 手数料、外部精度管理試薬購入費（2 百万円） ・水質検査機器購入費（1 1 百万円） ・資格取得、外部研修、大学等連携事業（2 百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.37

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の基盤強化 【要望内容】 ③ 汚水処理について、未普及解消アクションプランに基づき合併処理浄化槽の普及促進を図る予算を確保すること。	・下水道が整備されない区域においては、汚水処理の未普及解消に向けて、単独処理浄化槽や汲取りトイレから合併処理浄化槽への転換を促進するため、引き続き補助金を交付していく。 ・また、取水口の上流に位置する水源地域では、水源の水質保全を目的に、合併処理浄化槽への転換に対し、水道水源保全基金を活用した上乗せ補助を引き続き実施していく。 （上下水道局 下水道施設課、総務課）	・合併処理浄化槽設置費補助金（一般会計 136百万円） ・水質保全対策事業補助金（特別会計 4百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.38

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の基盤強化 【要望内容】 ④ 河川氾濫等が発生しても上下水道施設の機能維持を図るため、耐水化計画に基づく事業を確実に進める予算を確保すること。	・ 浸水のおそれがある3か所の雨水ポンプ施設及び2か所の汚水ポンプ施設においては、「豊田市上下水道施設耐水化計画」に基づき、防水扉の設置など耐水化を図る予定で、令和6年度に詳細設計を実施していく。 (上下水道局 下水道施設課)	・ 耐水化事業費（59百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.39

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の基盤強化 【要望内容】 ⑤ 維持管理情報のデータベース化等、DXを推進し、より効率的・効果的な上下水道事業の運営体制を確立するための予算を確保すること。	・給排水工事の申請については、県内複数の自治体との共同調達により、導入経費を抑制しながらオンラインシステムの導入に取り組む、利用者の利便性向上や内部事務の効率化を図っていく。 ・検針業務では、購入費用の観点から口径50mm以上のメーターを8年の検定満期を迎える時点で順次スマートメーターに交換していく。また、遠隔地における検針の在り方を検討するために、山間地の一部にスマートメーターを試行的に設置する。 （上下水道局 企画課、料金課）	・広域化共同化事業費（24百万円） ・固定資産購入費（スマートメーター）（11百万円） ・電信電話料金（スマートメーター通信費）（1百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.40

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の基盤強化 【要望内容】 ⑥ 民間業者の活用等により効果的・効率的な施設整備や維持管理等を推進するための予算を確保すること。	・上下水道の整備については、民間活力を活用した設計・施工一括発注方式を採用し、効果的・効率的に進めていく。 ・下水道施設の維持管理では、包括的維持管理業務により、多様な専門知識を必要とする污水处理場等の効率的な運転管理と、管路閉塞、設備不具合などへの迅速な対応を、24時間365日体制で実施していく。 ・上下水道施設の維持管理体制については、国のウォーターPPPの通知を踏まえ、運用を含めた維持管理体制への民間活力導入を検討していく。 （上下水道局 企画課、水道整備課、水道維持課、上水運用センター、下水道建設課、下水道施設課）	・污水管路建設用工事費（継続）（900百万円） ・下水道管路施設包括的維持管理費（246百万円） ・污水处理施設包括的維持管（316百万円） ・水道施設PPP導入支援事業費（59百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.41

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 博物館・美術館・民芸館など三館連携によるまちの魅力発信の推進 【要望内容】 ① 博物館開館に伴い、魅力的な展覧会やイベント等の実施及び組織体制強化の予算を確保すること。	・開館時には常設展とともに、ワークショップなど、にぎわいを創出するイベントで集客を図る。 ・秋以降は国宝や重要文化財の展示を行う「(仮) 縄文展」、自然分野と歴史・民俗分野が融合した「和食展」など、歴史や自然を扱う博物館の特長を生かした展覧会により集客を図る。 ・また、持続可能な事業運営に必要な組織体制については、適宜検討する。 (美術・博物部 博物館)	・講座等開催費（6百万円） ・展覧会開催費（常設展）（15百万円） ・展覧会開催費（(仮) 縄文展）（46百万円） ・展覧会開催費（和食展）（4百万円） （債務負担行為） 期間：令和7年度 限度額：18百万円

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.42

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 博物館・美術館・民芸館など三館連携によるまちの魅力発信の推進 【要望内容】 ② 博物館・美術館・民芸館などがミュージアムとして連携し展示や活動を行うことで、それぞれの魅力を相乗的に高め、発信する予算を確保すること。	・博物館、美術館、民芸館等でミュージアム連携会議を設置し、連携内容等を協議している。3館共通年間パスポートの発行や庭園でのマルシェ、写生大会の開催や広報等により魅力発信に努めていく。 (美術・博物部 美術館、博物館)	・高橋節郎館活動費（3館連携事業費）（11百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.43

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 博物館・美術館・民芸館など三館連携によるまちの魅力発信の推進 【要望内容】 ③ 文化ゾーンのまちづくり推進の予算を確保すること。	・文化ゾーン全体の魅力を高めるため、枝下用水耐震対策工事完了後の枝下緑地の整備方針の検討に着手する。 ・また、まちなかや文化ゾーン周辺の立寄りスポットを掲載した案内マップを作成し、博物館等の観覧と合わせ、来訪者に楽しんでもらえるよう働きかける。 (生涯活躍部 文化振興課、都市整備部 公園緑地つくる課、公園緑地つかう課)	・文化ゾーン施設整備費（18百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.44

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 文化芸術への関心を深める取組の推進 【要望内容】 ① 市民（児童生徒を含む）が文化芸術に親しむ機会の創出と主体的に関わりを持てるための予算を確保すること。	・クラシックコンサートや伝統芸能公演をはじめとする各種文化事業を継続的に実施し、多様な鑑賞・体験機会を創出するとともに、文化活動者が主体的に関わることができる事業や発表できる事業を展開していく。 ・博物館のとよはくパートナーや美術館ガイドボランティアなど、市民が主体的に各館の活動に関わる機会を設けるとともに、博学連携プログラムや各館の教育普及活動を通じて子どもや市民が参加できる事業を実施していく。 （生涯活躍部 文化振興課、美術・博物部 美術館、博物館）	・文化事業開催費（24百万円） ・青少年音楽活動費（45百万円） ・コンサートホール・能楽堂運営費（94百万円） ・文化芸術人材育成活用推進（9百万円） ・教育普及活動費（4百万円） ・パートナー運営費（4百万円） ・博物館学習費（17百万円） ・講座等開催費（6百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.45

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 生涯スポーツのまちづくりの推進 【要望内容】 ① 部活動の地域移行を踏まえた生涯スポーツ社会を実現するための地域施設（小中学校の体育館・グラウンド及び照明設備等）の整備改修予算を確保すること。	・生涯スポーツの拠点となる地域施設については、市営の体育館や運動広場を二ーズに合わせて地域にバランスよく配置しているほか、民間スポーツ施設や学校施設、他の公共施設などとも連携し、地域スポーツの推進を図っている。 ・とりわけ、小中学校の体育館については、各地域に配置され、地域スポーツの推進に有効であることから、体育館の老朽化対策に合わせて必要な整備改修を実施している。 ・また、屋外照明設備については、今後の部活動の地域移行に合わせた活動施設の利用状況や熱中症リスクの高まりなどの子どもたちを取り巻くスポーツ環境の変化も踏まえながら、整備の必要性を見極めていく。 （生涯活躍部 スポーツ振興課、教育部 学校づくり推進課）	・学校開放費（44百万円） ・諸営繕工事（うち、体育館・グラウンド修繕料）（71百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.46

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 生涯スポーツのまちづくりの推進 【要望内容】 ② 子どもの体力低下を防ぐためのスポーツ環境を整備するとともに、指導者の育成を図る予算を確保すること。	・地域スポーツクラブが実施するこども向けの教室等の支援を始めとして、スポーツ関係団体間で連携・協力し、こどもたちが楽しくスポーツに取り組める機会の充実や指導者の育成につなげていく。 ・また、部活動の地域移行に伴い、指導者の確保や育成、質の向上に努めていく。 （生涯活躍部 スポーツ振興課、教育部 学校教育課）	・地域スポーツクラブ育成支援費（2百万円） ・こどもの文化・スポーツ地域活動推進費（8百万円） ・部活動の地域移行事業費（115百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.47

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 大規模スポーツイベントを生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ① 大規模スポーツイベントを誘致し、地域の活性化につなげるため、開催及びプロモーションに関する予算を確保すること。	・世界ラリー選手権を引き続き開催するほか、サッカーやラグビーの国際試合など、集客力の高いスポーツイベントの誘致に当たっては、関係団体との連携を強化するとともに、市内での宿泊や飲食等の消費につなげるための関連イベントを開催する。 ・あわせて、イベントでのPRを含め、シティドレッシングや各種情報媒体を活用したプロモーション活動を実施する。 (生涯活躍部 スポーツ振興課、ラリーまちづくり推進課)	・スポーツツーリズム推進費 (17百万円) ・世界ラリー選手権開催推進 (603百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.48

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 大規模スポーツイベントを生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ② スポーツツーリズムを活用したスポーツを楽しむ機会を創出する予算を確保すること。	・全国のＪリーグクラブのアカデミー（Ｕ－１０）による交流戦「W E L O V E サッカー・豊田ゲームス」やラグビーワールドカップ２０１９™日本大会のレガシー事業「ジュニアラグビー」を実施し、試合や市外参加チームとの交流を通じて、スポーツを「する」「楽しむ」機会を提供する。 ・スポーツ大会及びスポーツ合宿の開催に合わせて「滞在時間の延長」や「宿泊」等に導くような取組を検討していく。 ・ツーリズムとよたや観光事業者と連携し、滞在時間の延長や宿泊等への誘導に取り組むことで、スポーツツーリズムを推進していく。 （生涯活躍部 スポーツ振興課、産業部 商業観光課）	・スポーツツーリズム推進費 （１７百万円） ・コンベンション開催支援補助金 （２０百万円） ・ツーリズムとよた補助金 （１１０百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.49

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 年度途中の待機児童への対応と保育士が働きやすい環境の整備 【要望内容】 ① 保育業務支援システムを活用した、更なる保育士業務効率化を図るための予算を確保すること。	・ 保育業務支援システムの活用について、これまで登降園管理機能、給食費等のキャッシュレス決済及び保育ドキュメンテーション機能活用による保護者への配信などを段階的に導入し、保育士の業務効率化や保護者の負担軽減、保育の質の向上を図ってきた。 ・ 令和6年度は、更なる業務効率化に向け、システム内の機能活用の検討を進めていく。 （こども・若者部 保育課）	・ I C T 推進費（51 百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.50

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 年度途中の待機児童への対応 と保育士が働きやすい環境の 整備 【要望内容】 ② トイレの洋式化など、老朽 化した設備等の保全改修など施 設を充実させるための予算を確 保すること。	・ こども園のトイレ再整備については、幼児用便器の洋式化率の向上 とトイレ環境の改善を目指し、洋式化率80%未満の18園を対象 にトイレの再整備を継続していく。 (こども・若者部 保育課)	・ トイレ改修費（148百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.51

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 年度途中の待機児童への対応 と保育士が働きやすい環境の 整備 【要望内容】 ③ 年度途中に発生する待機児童に加え、育休退園制度の廃止による途中入園の受入れ枠縮小に対応するため、0～2歳児の利用定員拡大に向けた予算を確保すること。	・乳児の受入れ枠拡大に向け、保育二一ズの高い地域において、新たな用地取得が必要なく、改修などが迅速かつ容易にできる園を選定し、検討を進めていく。 ・令和6年度は、幼稚園認可園を保育所認可園に移行するためにトヨタ、平山の工事を行い、令和7年度から2園で51人の受入れ枠拡大を図る。 ・上記2園に加えて、2園の設計を行い、更なる乳児の受入れ枠拡大の検討を行っていく。 （こども・若者部 保育課）	・諸営繕工事（200百万円） ・備品等整備費（うち、初度備品購入費30百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.52

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校教育環境の整備 【要望内容】 ① 学校の洋式トイレ再整備や学校施設の保全改修・修繕などの予算を確保すること。	・学校のトイレ再整備については、令和5年度末で整備率は85.5%となったが、ニーズが非常に高いことから、早期完了を目指して進めていく。 ・保全改修については、令和4年度に全て完了しており、今後は保全改修で進めてきた老朽化対策だけでなく、新しい時代に合った学校施設整備に向けた取組の検討を進めていく。 ・学校施設の改修や修繕などについては、児童生徒の安全・安心で快適な教育環境に直結することから、最優先で取組を進めていく。 (教育部 学校づくり推進課)	・小・中学校保全改修費 トイレ再整備事業（41百万円） 設計 小学校6校、中学校5校 【参考事項】 令和5年度3月補正予算 トイレ再整備事業 （787百万円） 工事 小学校8校、中学校6校

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.53

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校教育環境の整備 【要望内容】 ② 通学路等の危険個所を適宜点検し、安全に通学できる環境整備の予算を確保すること。	・ 通学路の安全を継続的に確保するため、学校では、年1回4月を中心に登下校の時間帯に通学路を実際に通行し、道路事情や交通量、歩道、信号機、安全のみどり線や交通安全施設の整備状況等を、児童生徒の目線から総合的に点検を行っている。 ・ 通学路整備については、学校からの通学路整備要望を基に、豊田市通学路整備推進会議及び担当国会議において、国・県・市・警察等の関係機関が連携を図り、緊急性や必要性、交通状況等を考慮して進めていく。 ・ 特に、通学路交通安全プログラムに基づく通学路整備については各道路管理者及び豊田、足助警察署と連携し、早期整備完了に向けた迅速な対応に努めていく。 (教育部 学校教育課、建設部 土木課、地域振興部 交通安全防犯課)	・ 通学路整備費（30百万円） ・ 歩道設置費（316百万円） ・ 市道改良費1（773百万円） ・ 市道改良費2（649百万円） ・ 事故防止対策費（289百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.54

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校教育環境の整備 【要望内容】 ③ 地域との連携により、部活動対応や地域コーディネーターの担い手確保など、教職員の多忙化解消及び地域ぐるみの教育を共働で推進するための予算を確保すること。	・地域学校共働本部を活用することで、部活動の地域移行や地域ボランティアによる活動など、教職員の多忙化解消及び地域ぐるみの教育を共働で推進するとともに、必要な予算の確保に努めていく。 (教育部 学校教育課)	・共働の学校づくり推進費 (53百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.55

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校教育環境の整備 【要望内容】 ④ 子どもの読書活動を進めるための予算を確保すること。	・ 全校に配置している学校図書館司書が、児童生徒の興味関心に応じた図書の推薦や、図書資料を生かした学習の支援を行うことで、読書活動の推進を図っていく。また、活動を促進するため学校図書館の環境整備を推進していく。 ・ 図書館教育担当教員や学校図書館司書対象の研修を実施し、子どもの読書活動の推進について学ぶ機会を設定することで、学校図書館の利用促進を図っている。 ・ 豊田市教育委員会と中央図書館共催「学校や地域の図書館を使った調べる・伝える学習コンクール」や豊田市教育研究会図書館部会と連携して実施している「読書感想画コンクール」を読書推進の啓発の機会として継続していく。 （教育部 学校教育課、図書館管理課）	・ 学校図書館司書配置費（1百万円） ・ 人件費（うち、学校図書館司書）（51百万円） ・ 教職員研修費（19百万円） ・ 児童生徒対象行事費（2百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.56

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校教育環境の整備 【要望内容】 ⑤ 気候変動による暑さ対策等、体育館、武道場の教育環境を整えるための予算を確保すること。	・昨今の地球温暖化を超えた地球沸騰化という状況も踏まえると、学校体育館・武道場への暑さ対策については、空調設備設置の早急な対応が必要と考えており、公共施設への太陽光発電設備の設置などカーボンニュートラルへの対応と合わせて、令和6年度から事業を実施していく。 (教育部 学校づくり推進課、環境部 環境政策課)	・体育館等暑さ対策費 (3,920百万円) ・公共施設太陽光発電設備設置費 (5百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.57

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校教育環境の整備 【要望内容】 ⑥ 安全安心な給食提供とアレルギー対応給食の全市拡大ができるよう、老朽化した平和・足助給食センターの早期建替えに向けた予算を確保すること。	・平和給食センター及び足助給食センターの建替えに向けては、候補地や建替手法等に関する調整を進めていく。 (教育部 保健給食課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.58

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 （仮）豊田市健康づくり運動プラン（第四次）の推進 【要望内容】 ① （仮）豊田市健康づくり運動プラン（第四次）を実践するための予算を確保すること。	・本計画で設定する重点取組を推進するため、各種健診（検診）等を着実に進めるとともに、様々な関係機関・団体等との連携を強化し、地域、ボランティア、民間事業者等と共働で健康づくりに取り組んでいく。 （保健部 健康政策課、健康づくり応援課）	・後期高齢者医療健診費 （266百万円） ・栄養改善推進費（1百万円） ・保健事業費（712百万円） ・被保険者健診費（47百万円） ・特定健康診査費 （263百万円） ・特定保健指導費（18百万円） ・地域ウォーキング推進費 （2百万円） ・生活習慣病予防対策費 （1百万円） ・8020運動推進費 （2百万円） ・心の健康づくり推進費 （2百万円） ・歯科健康診査費（26百万円） ・健康づくり豊田21計画推進費 （2百万円） ・若者向け食育推進費 （1百万円） ・とよた健康プラス10推進費 （16百万円） ・ヘルスサポートリーダー費 （1百万円） ・地域保健事業費（1百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.59

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 （仮）豊田市健康づくり運動プラン（第四次）の推進 【要望内容】 ② 自主グループやヘルスサポートリーダーを支援する予算を確保すること。	・元気アップ教室終了後の自主活動グループに対しては保健師等の専門職や健康づくりリーダーの派遣により自主的な活動を支援していく。 ・ヘルスサポートリーダーと地区担当との連携を図り活動を支援するとともに、養成講座やスキルアップ研修を実施することで、新規会員の増加と会員の資質向上を図る。 （保健部 健康づくり応援課）	・地域介護予防活動支援事業費（5百万円） ・ヘルスサポートリーダー費（1百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.60

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 新たな感染症等に備える体制の強化 【要望内容】 ① 新たな感染症等に対応するための人員体制の整備と人材育成に係る予算を確保すること。	・新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、新たな感染症の発生に備えるため、令和5年度に策定した感染症予防計画及び健康危機対処計画に基づき、人員体制の整備や人材育成等を行っていく。 ・新興感染症の流行開始から保健所職員、全庁からの応援職員、I H E A T 要員（地域の保健師等の専門職が保健所業務を支援する仕組み）を確保する。 （保健部 感染症予防課、健康政策課）	・健康危機管理対策費（13 百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.61

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 新たな感染症等に備える体制の強化 【要望内容】 ② 新たな感染症等に対応するための資機材等を整備する予算を確保すること。	・新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、患者搬送用資機材及び感染症防護具などの必要物品を見直した豊田市新型インフルエンザ等対策行動計画等に基づき、引き続き計画的に備蓄し、適切に確保していく。 (保健部 感染症予防課)	・新興再興感染症対策費 (6百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.62

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 性感染症対策の取組の強化 【要望内容】 ① HIVを始めとした性感染症の検査体制及び啓発を強化するための予算を確保すること。	・保健所業務のひっ迫時においても性感染症の検査を継続できるよう委託化を進めるとともに、検査を受けやすい環境整備のため郵送検査の導入など検査体制の強化・充実を図る。 ・H I V／エイズに対する理解促進及び梅毒等の性感染症の増加への対策として、企業、学校及び市民団体等と連携した啓発を実施し、保健所検査の受検を促進していく。 (保健部 感染症予防課)	・特定感染症予防費 (13百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.63

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 食の安全・安心を確保するための取組の強化 【要望内容】 ① コロナ禍の経験を踏まえ、食品事業者等に向けた HACCP の取組等の内容を含めた衛生講習会の受講機会及び手法の拡充を図るための予算を確保すること。	・ 令和5年度からWEB受講を可能にした「食品衛生責任者実務（定期受講）講習会」の見直しにより、受講機会の充実及び受講効果の向上を図る。 （保健部 保健衛生課）	・ 食品衛生監視指導費 （8百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.64

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 食の安全・安心を確保するための取組の強化 【要望内容】 ② 試験検査が適切に実施できる体制の予算を確保すること。	・検査体制を確保するため、O J T 及び外部研修への派遣等による検査担当職員の育成を強化するほか、検査機器の計画的な更新等を実施していく。 (保健部 保健衛生課)	・試験検査費（4 2 百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.65

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 世代や分野を超えた地域共生社会の推進 【要望内容】 ① 障がい者・高齢者の相互理解と意思疎通の推進に関する予算を確保すること。	・ 障がいに関する理解の促進に向け、心のバリアフリー推進講座に加え、図書館など公共施設でのポスター展示、イベント等における手話体験やカラーユニバーサルデザインなどの啓発を広く推進していく。 ・ 意思疎通の推進を図るため、学校との連携による相互理解と意思疎通に関する授業、手話や点字の体験会、意思疎通支援者養成講座など、意思疎通手段について学ぶ機会や支援者の確保に向けた取組を進めていく。 ・ また、引き続き、聴覚障がい者等の日常生活や社会生活における意思疎通の円滑化を図るため、障がい者の希望に応じて、手話通訳者など意思疎通支援者を派遣する。 (福祉部 障がい福祉課) ・ 認知症サポーター養成講座を行うとともに、若年層の高齢者理解を促進するために、学校や介護サービス事業所等と連携して授業を実施するなど、意思疎通支援等の各種事業に取り組んでいく。 (福祉部 高齢福祉課)	・ 障がい理解・啓発促進事業費（4百万円） ・ 意思疎通支援費（12百万円） ・ 認知症地域支援推進費（4百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.66

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 世代や分野を超えた地域共生社会の推進 【要望内容】 ② 在宅療養を支える人材の確保と育成環境の整備に係る予算を確保すること。	・ 豊田市・藤田医科大学連携地域医療学寄附講座や在宅相談ステーションの取組等により在宅医の確保・育成を行う。 ・ ロボットを活用した地域リハビリテーション医学の展開に関する寄附講座により、地域リハビリを推進する専門医の確保・育成を行う。 ・ 豊田地域医療人材育成センターにおいて、新卒・新任訪問看護師の確保・育成、現任訪問看護師のスキルアップ、地域リハビリを推進する療法士の育成を行うとともに、新たに在宅の口腔ケアを担う訪問歯科衛生士の育成カリキュラムの検討を行う。 ・ 多職種連携を目的とした相互理解を深める研修等により、在宅療養に携わる専門職全般のスキルアップを図る。 （福祉部 地域包括ケア企画課）	・ 豊田地域医療センター運営費負担金（600百万円） ・ 在宅医療・介護連携推進事業費（18百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.67

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 世代や分野を超えた地域共生社会の推進 【要望内容】 ③ 安心して地域で住み続けられる、在宅医療・福祉サービスと権利擁護支援を提供・推進できる体制を整備する予算を確保すること。	・「豊田市在宅医療・福祉連携推進計画」に基づき、在宅医療・福祉の基盤強化、連携強化に向け各種事業を実施していく。 ・豊田地域医療センターに設置した「地域リハインノベーションセンター」を拠点にロボットなど先進技術を活用した地域リハビリテーションの展開を推進していく。 ・豊田みよしケアネットを活用して、在宅療養に携わる専門職間で情報共有を図り、効率的・効果的な在宅療養サービスを提供する。 ・豊田加茂医師会と連携した、在宅医療機器の共同利用やかかりつけ医バックアップ体制の構築により、24時間365日安心して在宅療養できる体制を推進する。 ・患者本人が望む療養生活の選択・実現ができるよう、わたしのノート（スタート編）を活用した意思決定支援の取組を推進する。 （福祉部 地域包括ケア企画課） （次ページへ続く）	・豊田地域医療センター運営費負担金（600百万円） ・在宅医療・介護連携推進費（3百万円） ・在宅医療・介護連携推進事業費（18百万円） ・地域医療提供体制強化費補（8百万円）

	・介護の仕事相談会を実施し人材確保につなげるほか、介護サービス事業所のリーダー層に対する介護人材支援基礎研修を実施し、介護人材の確保、定着、育成における課題をフィードバックする。 ・訪問介護職場体験事業により、未経験者の訪問介護への入職に対する心理的ハードルを緩和し、ホームヘルパーの人材確保を図る。 ・職場改善コーディネーターの派遣により、働きやすい職場づくりを支援し、介護人材の定着を図る。 ・職場内におけるコミュニケーションの向上及び効果的なOJTのための研修を開催し、人材の定着と育成を図る。 ・現任介護職員研修の開催により、介護職員としての基礎的な知識や技術のスキルアップを図る。 ・介護サービス事業所における資格取得のための研修受講料を補助することで人材の定着とサービスの質の向上を図る。 ・特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームの整備を進めるとともに、看護小規模多機能型居宅介護事業所などの地域で住み続けるための事業者の新規参入に対し支援を行う。 (福祉部 介護保険課) ・強度行動障がい支援者養成研修（法定研修）や事業所等への訪問型全体研修及び個別ケース支援等を実施することで、専門的な知識やノウハウを備えた人材を育成し、事業所等における強度行動障がい者の受入れ体制の充実を図っていく。 ・また、豊田市福祉事業団において、市内事業所に向けた重度障がいへの支援に関する研修を実施し、人材育成を図っていく。 ・障がい者の相談窓口を市内の指定特定相談支援事業所に委託し、障がい者が日常生活や社会生活を営むことができるように様々な相談に応じていく。 (福祉部 障がい福祉課) (次ページへ続く)	・介護人材確保事業費（17百万円） ・介護保険関係研修受講料補助金（3百万円） ・特別養護老人ホーム等費（597百万円） ・障がい福祉事業従事者育成確保費（1百万円） ・相談支援費（109百万円）
--	--	--

	・高齢者の総合相談窓口として中学校区ごとに「地域包括支援センター」を28か所設置しており、一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加に対応するため、その機能強化を図っていく。 (福祉部 高齢福祉課) ・判断能力が不十分な市民の権利を守るため、「成年後見支援センター」において市民からの相談対応を継続するとともに、司法・福祉・医療等の連携体制の構築により、成年後見制度の適切な利用や、意思決定支援の推進、身寄りのない人への支援等の充実を図っていく。 (福祉部 よりそい支援課)	・地域包括支援センター運営 (960百万円) ・成年後見制度利用支援費 (98百万円) ・地域生活意思決定支援事業費 (6百万円)
--	---	---

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.68

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 世代や分野を超えた地域共生社会の推進 【要望内容】 ④ 認知症高齢者の急増及び若年性認知症への対応を充実する予算を確保すること。	・ 認知症の相談・支援については、地域包括支援センターに「認知症地域支援推進員」を配置し、引き続き、関係機関と連携した相談支援を行っていくほか、認知症の人の家族に寄り添う「伴走型支援」の拠点を整備していく予定である。 ・ 急増する認知症への対応として、認知症に対する理解促進と早期発見・早期対応が重要であることから、早期発見のチェックリストを含む「これってもの忘れ」と認知症の経過と利用できる支援等についてコンパクトにまとめた冊子「とよた認知症あんしんガイド」の活用を促進するとともに、認知症の人の意思決定支援に関する支援関係者への周知を継続していく。 ・ 若年性認知症については、若年性認知症本人・家族会の開催方法を見直すことで、認知症の人同士が出会い・語り合える参加しやすい環境をのアプローチとともに、異業種交流会等を通整えるほか、仕事と治療の両立に向けた企業へして若年性認知症等の人の社会参加の理解促進を図る。 (福祉部 高齢福祉課)	・ 地域包括支援センター運営費（960百万円） ・ 認知症地域支援推進費（4百万円） ・ 認知症伴走型支援事業費（2百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.69

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 世代や分野を超えた地域共生社会の推進 【要望内容】 ⑤ 重度障がい者支援の充実に係る予算を確保すること。	・強度行動障がい支援者養成研修（法定研修）や事業所等への訪問型全体研修及び個別ケース支援等を実施することで、専門的な知識やノウハウを備えた人材を育成し、事業所等における強度行動障がい者の受入れ体制の充実を図っていく。 ・重症心身障がい児・者の短期入所に係る報酬単価やグループホーム運営費への補助を行い、事業所の受入れ体制を確保していく。 ・医療型短期入所やレスパイト事業の実施に必要な経費を補助し、重症心身障がい者等の家族介護者の在宅介護における負担軽減を図っていく。 ・また、豊田市福祉事業団において、強度行動障がいや重症心身障がい者の日中活動場所を確保するための通所施設を運営するほか、市内事業所に向けた重度障がいへの支援に関する研修を実施し、人材育成を図っていく。 （福祉部 障がい福祉課）	・障がい福祉事業従事者育成確保費（1百万円） ・短期入所利用支援事業費補助金（1百万円） ・グループホーム受入促進事業費補助金（12百万円） ・家族介護者負担軽減事業費補助金（13百万円） ・重症心身障がい者等支援費移動支援費（1百万円） ・福祉事業団運営費補助金（1,429百万円のうち一部） ・第二ひまわり費（管理運営費）（35百万円） ・重症心身障がい者通所施設費（暖）（管理運営費）（29百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.70

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 世代や分野を超えた地域共生社会の推進 【要望内容】 ⑥ 子育て世帯の経済的負担軽減を進める子ども医療費助成制度の拡充に向けた予算を確保すること。	・令和6年4月1日から通院に係る子ども医療費助成の対象者を高校生世代までに拡大し、中学校卒業後の子どもの通院に係る経済的な負担による受診控えを防ぎ、病気の早期発見や早期治療による子どもの健全な育成を図っていく。 (福祉部 福祉医療課)	・子ども医療助成費 (2,622百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.71

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 脱炭素化の実現と資源循環の促進 【要望内容】 ① 脱炭素社会の実現に向け、市民・事業者の行動支援と公共施設における照明ＬＥＤ化や太陽光発電導入などの脱炭素化に向けた予算を確保すること。	・ 民生部門の脱炭素化に向けた行動支援として、新築住宅は、ＺＥＨへの補助制度を継続する。既存住宅は、スマートハウス化、蓄電池、及び高効率給湯器エネファームの導入に対する補助制度を継続するとともに、新たに断熱改修への補助制度を新設する。 ・ また、環境性能に優れた次世代自動車の普及拡大に向け、車両購入費補助や充電設備の導入補助を継続する。 ・ あわせて、市民や事業者の行動変容を促すため、「とよた・ゼロカーボンアクション」を引き続き展開していく。 ・ 公共施設における照明ＬＥＤ化は、着実に更新を進めていく。また、太陽光発電導入については、国の補助金の活用を検討しつつ、計画的に導入することを目指していく。 (環境部 環境政策課) (次ページへ続く)	・ スマートハウス普及促進費（１百万円） ・ スマートハウス化設備設置費等補助金（４３百万円） ・ 家庭用燃料電池設置費補助金（６百万円） ・ 家庭用蓄電池設置費補助金（３６百万円） ・ 住宅省エネ改修費補助金（３５百万円） ・ 次世代自動車普及促進費補助金（９６百万円） ・ 事業者向次世代自動車普及促進費補助金（１１百万円） ・ 次世代自動車普及促進費（１百万円） ・ 地球温暖化防止対策関連費（とよた・ゼロカーボンネットワーク負担金）（１１百万円） ・ 公共施設太陽光発電設備設置費（５百万円）

	・エネルギー価格高騰により多大な影響を受けている商店街等を支援するため、街路灯の省エネ化に向けた改修等に対して支援を行っていく。 (産業部 商業観光課) ・エネルギー地産地消の仕組みづくりに向け、「豊田市つながる社会実証推進協議会」等のプラットフォームを活用し、産官学の連携により実証実験を実施するとともに、協議会会員との連携を図りながら、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進する。 (企画政策部 未来都市推進課) ・ゼロカーボンシティの実現には、産業部門の脱炭素化を引き続き促進する必要があるため、創エネ・省エネに資する設備導入支援や相談窓口を継続するほか、セミナー等の啓発活動や省エネ診断等のコンサルティング支援を拡充していく。(産業部 産業労働課、次世代産業課)	・街路灯整備事業補助金 (14百万円) ・次世代社会システム実証推進費 (158百万円) ・カーボンニュートラル創エネ促進補助金(250百万円) ・カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金 (250百万円) ・企業立地奨励補助金 (1,140百万円) ・カーボンニュートラル取組拡大支援費(10百万円)
--	---	--

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.72

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 脱炭素化の実現と資源循環の促進 【要望内容】 ② 循環型社会の形成に向け、カバン型コンポスト等の普及拡大や資源・ごみのリサイクルを継続して取り組める仕組みづくりのための予算を確保すること。	・引き続き、カバン型コンポストの貸与や生ごみ処理機器の購入補助を実施する。また、カバン型コンポスト等でできた堆肥の回収場所の設置や利用者拡大に向けた講習会の開催などにより、市民の資源循環の取組を促していく。 ・引き続き、フードドライブを実施するとともに、フードドライブを実施する市民等に資材を貸与することで、拡大を図り、食品ロスの削減を推進する。 （環境部 循環型社会推進課）	・ごみ減量共働推進費（10百万円） ・生ごみ処理機器購入費補助金（8百万円） ・ごみ減量啓発費（5百万円） ・食品ロス削減推進費（2百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.73

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 脱炭素化の実現と資源循環の促進 【要望内容】 ③ 効率的で安定した処理施設を運営するための予算を確保すること。	・引き続き、安全安心なごみ処理体制を推進するとともに、ごみ発電の有効活用や生成される溶融スラグや堆肥等の有効利用を促進し、脱炭素化の実現と資源循環の促進に向けた施設運営を行う。 (環境部 清掃施設課)	・勘八不燃物処分場費 施設管理費（73百万円） ・グリーン・クリーンふじの丘費 施設管理費（284百万円） ・緑のリサイクルセンター費 管理運営費（174百万円） ・砂川衛生プラント費 施設管理費（306百万円） ・逢妻衛生プラント費 施設管理費（371百万円） ・藤岡プラント費 管理運営費（626百万円） ・渡刈クリーンセンター費 管理運営費 (2, 269百万円) ・プラスチック資源化施設費 管理運営費（112百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.74

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 良好な生活環境への取組強化 【要望内容】 ① 環境汚染の防止を目的に、環境調査体制の充実と環境調査情報の発信と理解促進を実施する予算を確保すること。	・市内の一般環境（大気、水質、騒音、振動、ダイオキシン類など）について、継続的に調査を実施し、環境の汚染状況や改善状況を確認するとともに、その結果を市民に分かりやすく情報発信していく。 ・科学的知見の蓄積により環境リスクが認められた化学物質については、市内の状況を把握するとともに、必要に応じ監視を行っていく。 ・大気汚染の常時監視については、測定局の管理及び機器更新を適切に行い、環境基準の長期的評価ができる有効測定局を維持していく。 ・河川環境を市民自らの感覚で評価する川しらべを実施することで、体験を通じて、より身近な水辺への環境意識の向上を促していく。（環境部 環境保全課）	・環境調査費（53百万円） ・大気測定局管理費（30百万円） ・大気測定局施設整備費（4百万円） ・水環境指標推進費（1百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.75

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 良好な生活環境への取組強化 【要望内容】 ② ごみ屋敷の対応に取り組む 予算を確保すること。	・ごみ屋敷の対応については、引き続き関係課等による庁内対策会議や個別ケース診断会議で、対応状況の情報共有や今後の対応について協議を行い、解決に向けた支援などに連携して取り組んでいく。 ・解決の進まない案件の多くは、原因者が地域等から孤立しているため、頻繁に声かけを行い良好な関係性を築くとともに、近隣住民や自治区長等とも連携した取組により、解決を目指していく。 (環境部 環境保全課)	・不良な生活環境解消推進費 (2百万円) ・人件費（不良な生活環境を解消するための審議会委員報酬） (1百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.76

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 にぎわいと魅力ある都心づくりのための環境の整備 【要望内容】 ① 市民の合意形成に基づいた都心環境計画の見直しを図りながら、西口を始めとするペデストリアンデッキ及び豊田市駅東口広場整備など利便性の向上のための公共空間を整備するための予算を確保すること。	・都心環境計画については、日常的なにぎわい空間の創出や安全・安心な歩行者動線の確保に向け、都市施設の機能・規模の最適化を図るとともに、整備内容を丁寧に説明し、市民の合意形成を図りながら、公共空間の整備を進めていく。 (都市整備部 都市整備課)	・都心環境計画整備費 (12百万円) ・豊田市駅西口施設整備費 (2,134百万円) ・豊田市駅東口駅前広場整備費 (46百万円) ・豊田市駅東口施設整備費 (211百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.77

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 にぎわいと魅力ある都心づくりのための環境の整備 【要望内容】 ② 駅前空間を活用し公民連携の合意形成を図るとともに豊田市駅の安全及び利便性向上のため、更に都心環境計画に基づくまちの賑わい創出に向けた駅舎整備を着実に推進する予算を確保すること。	・ 豊田市駅東口まちなか広場の実証実験で得られた知見や「あそべるとよたプロジェクト」における民間活力を取り入れながら、都市再生推進法人を中心に公民連携の取組を強化し、公共的空間の活用を推進していく。 ・ 豊田市駅の駅舎整備は、安全性・利便性の向上を図るとともに、駅前広場整備と連携した高架下店舗改修等による賑わい創出に向け、名古屋鉄道（株）が実施する耐震化事業を支援していく。 （都市整備部 都市整備課、産業部 商業観光課）	・ 商業活性化推進交付金 （26百万円） ・ 公共空間活用推進費 （12百万円） ・ 新豊田駅西口駅前広場整備費 （20百万円） ・ 新豊田駅東口駅前広場整備費 （16百万円） ・ 豊田市駅東口駅前広場整備費 （46百万円） ・ 豊田市駅整備費 （195百万円） ・ 鉄道駅耐震補強事業補助金 （5百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.78

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 名鉄三河線の高架化事業の推進 【要望内容】 ① 若林駅付近の高架化事業を推進する予算を確保すること。	・若林駅付近の高架化については、引き続き高架本体工事を進め、事業の推進を図っていく。 (建設部 街路課)	・街路建設費 (6, 689百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.79

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 名鉄三河線の高架化事業の推進 【要望内容】 ② 市内鉄道駅のバリアフリー化など環境整備を推進する予算を確保すること。	・バリアフリー法の基本方針では、駅利用者数が3,000人／日以上の場合にバリアフリー化の義務が発生するが、基準を満たしていない駅は、鉄道事業者の任意である。 ・バリアフリー整備の際は、鉄道事業者からの支援要請に基づき、国の補助制度の活用を検討し、連携を図っていく。 (都市整備部 交通政策課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.80

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 安全で快適な道路ネットワークの構築と公共交通の再編 【要望内容】 ① 南北バイパスを始めとする広域交流・都市間交流、経済活動を支える道路ネットワークの構築を早期に図る予算を確保すること。	・国道155号豊田南バイパス・国道153号豊田北バイパスを始め、国道301号松平バイパスや国道419号四郷拡幅などの国・愛知県事業のほか、（都）高橋細谷線や（都）豊田刈谷線の4車線化整備など、都市の骨格となる幹線道路ネットワークの整備を推進している。 ・引き続き、生活と産業を支え持続可能な都市の実現を目指し、幹線道路ネットワークの早期構築に向け、国・愛知県への予算要望を含め積極的に取り組んでいく。 （建設部 建設企画課、幹線道路推進課、街路課）	・特定道路建設費（1,579百万円） ・特定道路改良促進費（128百万円） ・市道改良費1（773百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.81

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 安全で快適な道路ネットワークの構築と公共交通の再編 【要望内容】 ② 公共施設や医療施設のほか鉄道駅など交通結節点へアクセスする市域の一体性や地域間の交流を支える道路ネットワークの充実を図るための予算を確保すること。	・市域の一体性や地域間の交流を支える道路ネットワークの充実を図るため、引き続き（都）西岡吉原線や（都）若林東西線、（都）浄水駅北通り線等の都市計画道路の整備を推進していく。 （建設部 街路課、幹線道路推進課、建設企画課）	・街路建設費 （6, 689百万円） ・特定道路建設費 （1, 579百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.82

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 安全で快適な道路ネットワークの構築と公共交通の再編 【要望内容】 ③ 超高齢社会に対応するため、公共交通空白地域等の見直しと公共交通ネットワークの再編など新たなバス路線導入の検討、タクシー利用や住民共助による新たな地域交通の仕組みの実現に向けた予算を確保すること。	・おいでんバスなどの基幹交通は、利用実態に合わせた見直しを検討しつつ、ネットワークとして維持していく。 ・地域バスなどの生活交通は、「自助・共助・公助」による多様な移動手段を組み合わせ、持続可能な移動サービスを実現していくことが重要である。 ・利便性と持続性の両立を目指して、地域バスなどの見直しや利用促進に取り組むほか、住民共助による取組への支援を拡充するなど、高齢者等の生活交通のニーズに合わせた取組を行っていく。 (都市整備部 交通政策課、地域振興部 地域支援課及び関係支所)	・地域バス運行費 (365百万円) ・地域タクシー運行費 (15百万円) ・地域公共交通計画策定費 (9百万円) ・地域内交通確保調査費 (5百万円) ・住民共助交通推進費 (3百万円) ・地域交通調査等支援事業費補助金 (1百万円) ・共助タクシー運行支援事業費補助金 (1百万円) ・住民共助輸送支援事業費補助金 (1百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.83

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 豊田市運動公園への交通の利便性の向上 【要望内容】 ① 豊田市運動公園への交通の利便性向上を図るため、名鉄三河線の足助までの延伸を検討する予算とパークアンドライド駐車場を含めた公共交通等によるアクセスの充実を図る予算を確保すること。	・名鉄三河線の延伸整備とパークアンドライド用駐車場整備は、事業性や整備費用など課題が非常に多いことから、猿投駅以外の駅からのアクセスも含め、既存の公共交通を利用したアクセス方法の案内を充実することにより、利用しやすい環境を整えていく。 (都市整備部 交通政策課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.84

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 豊田市運動公園への交通の利便性の向上 【要望内容】 ② 運動公園利用者のアクセス道路の予算を確保すること。	・市街地から豊田市運動公園など公共施設へのアクセス機能を向上させる市北部の幹線道路網を形成するため、国道153号豊田北バイパスの事業を国土交通省が、国道419号と県道西中山越戸停車場線の事業を愛知県が進めており、本市としても、引き続き、国・愛知県事業を支援するとともに、関連する（都）猿投学校通り線の事業を進めていく。 ・これらの幹線道路の進捗に合わせて、運動公園周辺の交通安全確保に向けた生活道路の整備を図っていく。 （建設部 建設企画課、幹線道路推進課、街路課、土木課）	・街路建設費 （6,689百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.85

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 中央公園の整備及び矢作緑地の利活用推進 【要望内容】 ① 中央公園第二期整備事業先行整備区域を確実に進捗するための予算及び次期整備区域事業を見据えた予算を確保すること。	・中央公園第二期整備事業については、先行整備区域の用地取得が完了し、民間事業者の公募の準備や基盤整備工事を進めており、引き続き、着実な事業推進に努めていく。 ・次期整備区域については、民間事業者参入を見据えたサウンディング調査を踏まえつつ、先行整備区域の賑わい創出やスポーツツーリズム等の整備効果を検証した上で事業化を見極めていく。 （都市整備部 公園緑地つくる課）	・中央公園第二期整備費（109百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.86

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 中央公園の整備及び矢作緑地の利活用推進 【要望内容】 ② 中央公園と連携した矢作緑地全体の利活用に向け、矢作川水辺プロジェクトを推進するための予算を確保すること。	・ 矢作川の河川改修事業や中央公園第二期整備事業と連携しながら、コアエリアにおける利活用に取り組むとともに、「かわまちづくり計画」に基づき、久澄橋下流の右岸において、散策路等を新たに整備することで、矢作緑地全体の利活用の推進を図っていく。 (都市整備部 公園緑地つくる課、公園緑地つかう課、建設部 河川課)	・ 矢作川環境整備費 (32百万円) ・ 矢作川水辺プロジェクト費 (4百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.87

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 鞍ヶ池公園、毘森公園等、都市公園の利活用促進に向けた整備推進 【要望内容】 ① 鞍ヶ池公園動物園の展示動物の多種化など、更なる魅力向上に向けた調査検討のための予算を確保すること。	・鞍ヶ池公園動物園については、まずは老朽化している施設への対応を進め、利用者の安全確保の取組を進めるとともに、隣接する施設との連携など魅力向上に向け、関係部局との調整を進めていく。 (都市整備部 公園緑地つかう課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.88

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 鞍ヶ池公園、毘森公園等、都市公園の利活用促進に向けた整備推進 【要望内容】 ② 毘森公園再整備に向けた調査費の予算及び緑道整備の事業推進のための予算を確保すること。	・ 毘森公園の再整備については、人口減少等社会状況の変化や施設の老朽化に伴う機能の更新時期を踏まえ、市域全体の公園の再編を含め中長期的な視点で公園のあるべき姿について総合的に検討し判断していく。 ・ 緑道整備については、愛知県の枝下用水幹線水路耐震化工事が完了した区間において、効率的かつ迅速に既存緑道の復旧ができるよう、調整を行っていく。 （都市整備部 公園緑地つくる課、企画政策部 都市計画課）	・ 公園整備計画策定費（5百万円） ・ 枝下緑道（2百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.89

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 鞍ヶ池公園、毘森公園等、都市公園の利活用促進に向けた整備推進 【要望内容】 ③ 都市公園の更なる賑わいづくりに向けた整備促進のための予算を確保すること。	・賑わいづくりのための整備促進については、公園利用者の安全確保に向けた施設の修繕や機能回復の整備を行うとともに、利用者の増加と利便性向上に資する整備を行っていく。 (都市整備部 公園緑地つくる課、公園緑地つかう課)	・公園施設修繕費（194百万円） ・街区公園整備費（45百万円） ・地区公園整備費（80百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.90

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 家族形成期世代や子育て世代の更なる定住促進と定住プロモーションの推進 【要望内容】 ① 施行中の土地区画整理事業の推進及び新たな市街地整備の展開に必要な予算を確保すること。	・現在施行中の土橋、花園等の土地区画整理事業については、計画的な進捗を図るとともに、新たな市街地整備を検討している地区については、将来的な人口動向や市を取り巻く社会構造の変化等を見据えながら、地区の実状に合わせたまちづくりの方向性などの検討を地元組織と協力して取り組んでいく。 (都市整備部 市街地整備課、区画整理支援課、企画政策部 都市計画課)	・土橋土地区画整理事業負担金（120百万円） ・土橋土地区画整理事業繰出金（179百万円） ・花園土地区画整理事業負担金（373百万円） ・花園土地区画整理事業繰出金（669百万円） ・八草駅周辺土地利用調査費（118百万円） ・上豊田駅周辺土地利用調査費（52百万円） ・若林駅周辺土地区画整理調査費（29百万円） ・土地利用対策調整費（10百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.91

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 家族形成期世代や子育て世代の更なる定住促進と定住プロモーションの推進 【要望内容】 ② 住宅・宅地を積極的に確保するため、優良建築物等整備事業への支援を充実させると共に定住施策に向けた規制緩和策など検討立案のための予算を確保すること。	・優良建築物等整備事業については、市街地再開発事業等補助金交付要綱に基づき、国や県と共に補助を行っていく。 ・駅周辺への宅地供給や拠点地域核等への居住誘導を実現するため、土地の高度利用に係る規制緩和の二ーズの把握に努めて、便利に暮らせる駅周辺居住の推進を図っていく。 （都市整備部 定住促進課、都市整備課）	・三河豊田駅前地区優良建築物等整備費補助金（76百万円） ・住宅マスタープラン推進費（10百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.92

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 家族形成期世代や子育て世代の更なる定住促進と定住プロモーションの推進 【要望内容】 ③ 豊田の住みよさを積極的に発信する定住プロモーション推進のための予算を確保すること。	・定住につなげていくために、家族形成期世代や子育て世代といったターゲットに対し、居住地選択の傾向や決定要因の分析結果を基に、それに応える「豊田市の魅力や住みやすさ」を届ける効果的な定住プロモーション活動を積極的に進めていく。 (都市整備部 定住促進課)	・定住促進プロモーション費 (13百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.93

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 市民の生命財産を守る安全・安心で強靱なまちづくりの推進 【要望内容】 ① 豊田市国土強靱化地域計画を推進し、質の高いインフラ整備、河川や橋りょうなどの都市施設及び農業用施設等の防災減災対策に取り組むとともに、豊田市公共施設等総合管理計画に基づく施設管理により、災害に強い地域づくりのための予算を確保すること。	・道路施設、河川施設及び農業用施設については、豊田市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画に沿って点検や修繕を着実に行うことで、社会基盤の適正な機能維持に努めていく。 (建設部 道路維持課、地域建設課、道路予防保全課、河川課、産業部 農地整備課) (次ページへ続く)	・道路等管理費 (1, 076百万円) ・道路修繕費 (2, 109百万円) ・交通安全施設維持管理費 (268百万円) ・橋りょう修繕費 (321百万円) ・河川等施設費 (167百万円) ・河川修繕費 (378百万円) ・排水路改良費 (429百万円) ・農業用施設管理費 (63百万円) ・農道整備事業費 (48百万円) ・水路整備事業費 (58百万円)

	・「豊田市総合雨水対策マスタープラン」に基づき、河川改修や雨水貯留施設の整備などのハード対策を進め、防災減災対策に取り組んでいく。 (建設部 河川課) ・橋りょうについては、平成8年道路橋示方書より古い基準で設計された橋長15m以上の橋りょうのうち、緊急輸送道路等を跨ぐ重要橋りょうに対し、優先順位を付け、引き続き計画的に耐震対策を進めていく。 (建設部 道路予防保全課) ・農業用施設の防災減災対策については、総合農地防災事業・農村地域防災減災事業として、幹線用水路、防災重点農業用ため池の整備を国営・県営事業で進めていく。 (産業部 農地整備課)	・河川改良費 (649百万円) ・流域貯留施設整備費 (75百万円) ・耐震対策費 (164百万円) ・矢作川総合第二期地区支援事業費 (34百万円) ・県営震災対策農業水利施設整備費 (枝下用水地区) (160百万円) ・防災ため池整備費 (5百万円)
--	---	--

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.94

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 市民の生命財産を守る安全・安心で強靱なまちづくりの推進 【要望内容】 ② 早期災害復旧対策を図るため、地籍調査の予算を確保すること。	・大規模災害後の早期復旧対策等に寄与する地籍調査を「第7次国土調査事業十箇年計画」に基づき、計画的に進めるため、国から示された新たな調査手続の活用や効率的な調査手法について積極的に取り組み、国の交付金が優先的に配分されるよう努める。 (産業部 農地整備課)	・地籍調査費（27百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.95

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 商業の活性化及び観光の産業化による賑わい創出の促進 【要望内容】 ① 新型コロナの影響が残る中、市全体の賑わいを取り戻すため、飲食や宿泊事業者等の経営が回復し、地域経済を活性化させる予算を確保すること。	・ 日常的な消費機会を創出し、地域における消費を拡大するため、商業団体が主体的に行うプレミアム付き商品券発行事業などの取組を支援し、事業活動を下支えしていく。 ・ 宿泊事業者等と連携し、滞在時間の延長や宿泊等への誘導に取り組むことで、地域経済の活性化を推進していく。 ・ 観光においては、テーマ別観光商品の開発及び観光ポイント制度「いこまいとよた」の推進等、地域経済の活性化に必要な取組を実施していく。 (産業部 商業観光課)	・ 商店街等プレミアム商品券発行事業補助金（200百万円） ・ 観光客等誘引宿泊促進事業費（500百万円） ・ ツーリズムとよた補助金（110百万円） ・ 観光プロモーション費（13百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.96

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 商業の活性化及び観光の産業化による賑わい創出の促進 【要望内容】 ② 多様な地域資源を活用した商品造成と戦略的観光プロモーションによる、国内外からの来訪者及び観光消費額の増加に向け観光の産業化を促進させる予算を確保すること。	・（一社）ツーリズムとよた、各地区観光協会、観光関係者と連携し、地域の観光資源を生かし、「歴史」「自然」「体験」等、消費者の趣味・嗜好に合わせた商品の造成やプロモーションを進めていく。 （産業部 商業観光課）	・ ツーリズムとよた補助金 （110百万円） ・ 観光プロモーション費 （13百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.97

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 ものづくり中小企業の支援強化 【要望内容】 ① ものづくり創造拠点SENTANを核として、中小企業の新事業展開やスタートアップによるイノベーション創出を促進するとともに、ものづくり人材育成を着実に推進する予算を確保すること。	・ものづくり創造拠点SENTANにおいて、事業拡大・ビジネス化を支援するピッチイベント、新製品・新技術等の開発や新たなビジネスモデルの構築に関わる補助制度等を継続的に実施するほか、新規事業へ挑戦する企業への支援等を拡充することで、既存企業の新事業展開やスタートアップの事業化を支援していく。 ・「次世代航空モビリティ協業ネットワーク」において、次世代航空モビリティの開発・製品化の加速に向けた「開発報告&提案会」の開催、社会受容性の向上に向けた講演会等を実施するほか、新たに制作するVRコンテンツでの普及啓発等を実施し、次世代航空モビリティの地域産業化を目指していく。 ・また、「ものづくりミライ塾」や、とよたイノベーションセンターの人材育成事業「製造技術者育成プログラム」、「デジタルものづくりカレッジ」を継続して実施し、デジタル人材も含めたものづくり人材の育成を進めていく。 (産業部 次世代産業課)	・ものづくり創造拠点運営費（82百万円） ・新事業展開支援費（24百万円） ・ものづくり創造補助金（21百万円） ・次世代航空モビリティ産業化推進費（72百万円） ・イノベーションセンター運（46百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.98

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 ものづくり中小企業の支援強化 【要望内容】 ② カーボンニュートラル実現、デジタル技術の活用によるDXの推進など、企業を取り巻く社会環境の変化に向けた支援のための予算を確保すること。	・企業の脱炭素経営を推進するため、カーボンニュートラルの必要性や省エネ及び再エネ導入の実践手法を学び合う「豊田市脱炭素スクール」を第3期以降も引き続き実施することで、企業のカーボンニュートラル実現に向けた支援を行う。 (環境部 環境政策課) ・また、創エネ・省エネに資する設備導入支援や相談窓口を継続するほか、セミナー等の啓発活動や省エネ診断等のコンサルティング支援を拡充していく。 ・DXの推進については、DX推進プラットフォームの運営、モデルとなる事例創出、デジタル人材の育成、サイバーセキュリティ対策、メタバースの活用検討などを実施し、社会環境の変化に対応できるよう支援していく。 (産業部 産業労働課、次世代産業課) (次ページへ続く)	・地球温暖化防止対策関連費（脱炭素スクール運営業務委託費）（3百万円） ・デジタル人材育成支援費（21百万円） ・中小企業経営力高度化事業補助金（23百万円） ・デジタル技術活用促進費（25百万円） ・カーボンニュートラル取組拡大支援費（10百万円） ・カーボンニュートラル創エネ促進補助金（250百万円） ・カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金（250百万円）

		・企業立地奨励補助金 （１，１４０百万円） ・イノベーションセンター運営費 （４６百万円）
--	--	---

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.99

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 ものづくり中小企業の支援強化 【要望内容】 ③ 地域産業の担い手確保と、事業活動の基盤強化、事業承継など中小企業・小規模事業者が抱える課題に対して包括的な支援策を構築する予算を確保すること。	・ 中小企業の経営力高度化を促進するため、人材育成、人材確保、販路開拓、事業承継・M & A等に係る費用の一部を支援していく。 ・ 事業承継を支援するため、商工会議所、豊田信用金庫との連携による、とよた事業承継プラットフォームにより、セミナーを開催するとともに、無料相談にも対応していく。 ・ 地域産業の担い手確保を支援するため、高校生や大学生等に向けた市内就職のPRにより地元企業の魅力発信を支援していく。また、企業の人材確保力強化に向けた伴走支援等の実践を通じて、地域に必要な支援体制の強化を図っていく。 （産業部 産業労働課）	・ 中小企業経営力高度化事業補助金（23百万円） ・ 人材マッチング支援費（22百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.100

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 ものづくり中小企業の支援強化 【要望内容】 ④ 中小企業の経営力強化と就労支援事業を推進し、多様な人材が能力を発揮できる職場環境に向けた予算を確保すること。	・人材育成、人材確保、販路開拓、事業承継・M & A等に係る費用の一部への支援等により、中小企業の経営力強化に取り組んでいく。 ・就労支援室や女性しごとテラスを核に、若年者、女性、中高年齢者、外国人など対象者のニーズにあった就労支援に取り組んでいく。 ・働き方改革に関する情報提供を行うとともに、自社の現状把握及び新たな取組を支援するため、「働き方改革アドバイザー・講師派遣制度」により、専門家を無料で派遣する。 ・働き方改革に取り組み、成果を上げた事業所を表彰する「はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰制度」や、セルフチェックのための「働きやすい職場づくり推進事業所」確認公表制度を実施することで、改革に取り組む事業所のすそ野の拡大及び成功事例の横展開に繋げていく。 ・引き続き中小企業が働き方改革に取り組むために要する経費の一部を支援する。 （産業部 産業労働課）	・中小企業経営力高度化事業補助金（23百万円） ・若年者就労支援費（2百万円） ・就労支援室費（19百万円） ・定住外国人就労支援費（3百万円） ・女性就労支援費（48百万円） ・中高年齢者就労支援費（2百万円） ・働き方改革推進費（アドバイザー派遣費）（1百万円） ・働き方改革推進費（啓発事業費）（4百万円） ・働き方改革推進支援補助金（10百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.101

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 本市の農業の持続的な発展に向けた取組の推進 【要望内容】 ① 「とよたの農」の一層の推進を図るため、新たな担い手の確保や地産地消を支える機関連携の推進など、本市の農業の持続的な発展に向けた予算を確保すること。	・ 農業者の生産性向上と所得向上を図り、強靱な農業を実践するため、引き続き高性能農業用機械等の導入を支援する。 ・ 新規就農者に対し、就農に必要な機械導入の補助金交付や就農後の不安定な経営を支援することで、農業への定着を図っていく。 ・ 農ライフ創生センターが運営する各種講座を通じて、農の楽しさを知るきっかけづくりに取り組むほか、引き続き「担い手づくりコース」により新たな担い手の確保及び育成を図るとともに、「桃・梨専門コース」により本市のブランド農産物の担い手の育成を図っていく。 （産業部 農業振興課） （次ページへ続く）	・ あいち型産地パワーアップ事業費補助金（27百万円） ・ 地域施設整備費補助金（1百万円） ・ 山間地営農等振興費補助金（16百万円） ・ 農業人材力強化総合支援費補助金（8百万円） ・ 新規就農者育成総合対策補助金（53百万円） ・ 農ライフ創生センター費（運営費）（24百万円）

	・ 農業者の周辺環境の向上を通じて、各集落の担い手への農地の集積・集約を推進し、営農の効率性を高めるとともに、農業の脱炭素化及び農作業の省力化や効率化に挑戦する農業者等を支援することで、持続可能な農業の実現を図っていく。 ・ 豊田市農産物ブランド化推進協議会や豊田市農産物直売所連絡協議会などによる各種 P R イベントの開催のほか、 S N S を使用した情報発信を充実し、地産地食の推進による市民の買い支え意識の醸成を図っていく。 (産業部 農政企画課)	・ 農地集積支援事業費補助金 (2 百万円) ・ 豊田地域農業活性化対策負担金 (6 百万円) ・ 農業チャレンジ推進補助金 (1 0 百万円) ・ 地産地食推進費 (5 百万円) ・ 農産物直売所推進費 (1 百万円)
--	---	---

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.102

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 本市の農業の持続的な発展に向けた取組の推進 【要望内容】 ② 鳥獣の農作物被害を低減し、営農意欲の維持・向上を図るための予算を確保すること。	・ 鳥獣による農作物被害の低減に向け、引き続き「環境整備対策」、「侵入防止対策」、「捕獲対策」の3つの取組を柱に取り組んでいく。 ・ また、効果的に鳥獣害対策を推進するため、集落や猟友会を始めとする関係機関との連携を深めるとともに、必要な人材の育成、情報の共有化を図り、鳥獣害に強い集落づくりを目指していく。 (産業部 農業振興課)	・ 有害鳥獣捕獲対策費 (34百万円) ・ 野生鳥獣被害防止対策事業補助金 (5百万円) ・ 狩猟免許取得支援費補助金 (1百万円) ・ 鳥獣害防止総合対策費負担 (26百万円) ・ 有害鳥獣捕獲奨励補助金 (5百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.103

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 本市の農業の持続的な発展に向けた取組の推進 【要望内容】 ③ 農地を保全し、農地利用の最適化を進めるために必要な予算を確保すること。	・令和4年2月に発出された農水省経営局長通知「農業委員会による最適化活動の推進等について」に基づき、農業委員会において、毎年度、最適化（遊休農地の解消・農地の集積・新規参入の促進）に関する成果目標及び活動目標を設定し、農水省の農地利用最適化交付金事業を活用しながら、最適化活動の更なる推進に努めていく。 ・また、令和5年4月施行の改正農業経営基盤強化促進法に基づき、将来に渡り、農業上の利用が行われる区域（守るべき農地）及びその区域内の農地1筆ごとに担い手を明確化した「目標地図」の素案を含めた地域計画を作成するために必要な予算を確保し、令和6年度末までに策定していく。 （産業部 農政企画課、農業委員会事務局）	・農業委員会委員報酬（41百万円） ・農業委員会事務費（19百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.104

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 本市の農業の持続的な発展に向けた取組の推進 【要望内容】 ④ 卸売市場の今後の在り方について再整備の可能性も含め、将来を見据えた基本方針を早期に示すための予算を確保すること。	・再整備を含めた豊田市公設地方卸売市場の在り方に関する方針を早期に決定し、関係者との情報共有など必要な対応を進めていく。 （産業部 農政企画課）	・施設整備費 （令和7年度債務負担行為 30百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和6年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

No.105

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和6年度予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 森林資源の更なる活用に向けた、林業及び木材利用の活性化の推進 【要望内容】 ① 過密人工林の健全化を更に進め、効率的な林道管理を推進するとともに林業従事者の確保や育成、働く環境の改善とデジタル技術等新たな技術導入等に必要な予算を確保すること。	・人工林の健全化を効率的に進めるため、デジタル技術を活用した森林整備や林道管理を推進していく。 ・林業従事者の確保、育成、働く環境の改善については、新規就業者育成推進事業補助金及び森林作業員基礎技術研修の継続に加え、新たに新規就業者の確保を目的に学生を対象とした就業体験イベントを実施する。 （産業部 森林課）	・森づくり推進組織育成費交付金（46百万円） ・団地化推進費（78百万円） ・新規就業者育成推進事業費補助金（24百万円） ・人材育成費（3百万円） ・林道整備調査費（3百万円） ・林道一般（9百万円）